

# 長野陸協 会報

平成27年11月1日

第154号

発行所 (一財)長野陸上競技協会  
発行人 内山了治  
編集人 内山良一・黒岩敏明・事務局  
印刷所 信教印刷株式会社  
事務局 〒381-0038 長野市東和田 632  
URL : <http://nagano-rk.com/>  
E-mail : [info07@nagano-rk.com](mailto:info07@nagano-rk.com)  
電話 : 090-1867-7044 Fax : 026-241-5155

**北京世界選手権50km競歩 4位入賞 3時間42分55秒**  
荒井 広宙 自衛隊体育学校(中野実業高等学校出身)

**全国高校総体5000m競歩 優勝 23分13秒98**  
溝口 友己歩 長野東高校3年

## 和歌山国体 県勢活躍

天皇杯 15位 62点

皇后杯 12位 31点

嶺村 鴻汰 成年男子走幅跳 **優勝**

川元 奨 成年男子800m **優勝**

男子4×100mリレー 7位

女子4×100mリレー 8位 (県新)



### ◆ もくじ ◆

世界選手権荒井選手入賞ほか	1
新体制の長野陸協／新任のご挨拶	2
特別寄稿 日本陸連鈴木競技運営委員長	3
8年間の任期を終えて／事務局顛末記	3
長野陸協主催・主管事業	4
長野マラソン大会	4
市町村対抗駅伝／実業団・マスターズ大会	5
日本陸上競技選手権混成競技	6
東海選手権大会	7
Topics-1 スクリーン竣工	7
各種全国大会結果	8

わかやま国体結果	12
長野陸協栄章授与式	13
第64回長野県縦断駅伝について	13
Topics-2 小坂会長祝賀会	14
地区陸協訪問(南信地区)	14
昨今の不正スタート事情	14
県内主要競技会結果	15
長野陸協 会議録	21
日本混成サブイベント	22
長野陸協事務局だより	23
日本陸連栄章／お知らせ	24

## 新体制の長野陸協

一般財団法人 長野陸上競技協会 代表理事 会長 小坂 憲次



トラックシーズンが終わり、いよいよ駅伝シーズンとなりました。皆様方には7月に開催された第99回日本陸上競技選手権大会混成競技、8月の第58回東海陸上競技選手権大会をはじめ、連日各種競技会並びに本協会の運営、そして地域陸協の各種事業等にご尽力をいただいておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

長野陸上競技協会におきましては、6月の評議員会で城田忠承・富松健夫副会長、細田完二理事長らが退任され、新たに北原誠治副会長を迎え、中條延太郎（再任）・伊藤利博（会長代行）・下川泰秀副会長4名と留任理事9名に加え、内山了治新理事長（代表理事）と12名の新理事、合計27名の理事で新体制をスタートさせました。8年間長野陸協を牽引された細田理事長はじめ理事並びに事務局の皆様には、本協会発展のためのご尽力と、財団法人化という大きな任務の遂行などに、心より敬意と感謝を申し上げます。

競技面では、8月に中国北京で開催された世界陸上では荒井選手（自衛隊体育学校）が50km競歩で見事4位に入賞、同種目で銅メダルを獲得した谷井選手とともに力歩してくれました。また国体では中津普及強化委員長一藤森強化部長の新体制のもと、嶺村・川元選手の優勝はじめ13種目に入賞し、天皇盃15位、皇后盃12位というすばらしい成果を残して頂きました。スタッフ、選手の皆さん本当にお疲れ様でした。

さて、わが国においては、念願のスポーツ庁がこの10月1日に発足し、初代長官にはソウル五輪水泳100m背泳ぎ金メダリストの鈴木大地（水泳連盟会長・順天堂大学教授）氏が就任されました。私が文部科学大臣を担当していた頃からの懸案事項がようやく実り、東京オリ・パラに向けてまさしくバサロスタートのような独創性のある任務とスポーツ庁の効果を期待しております。スポーツ庁はご承知のとおりスポーツ関連の「縦割行政」を解消し、スポーツ行政・予算の一元化と効率化を図ることが創設の目的でございますが、これに先立ち制定されたスポーツ基本法（平成23年）の大きな柱である、「スポーツを行うことは国民の権利である」という国民のスポーツ権の具現化と、「スポーツ立国戦略」という国のビジョンに対して、スポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを任務としています。

日本は、平均寿命は女性が世界トップ、健康寿命は男女とも世界一、また、65歳以上人口は総人口の1/4となり、さらには国民の8人に一人が75歳以上という超高齢化社会を迎えております。健康寿命の延伸には、QOL（生活の質）を高め、栄養、休養、運動のバランス、中でも運動の重要性が指摘されています。

本協会は、このようなことにも着目し、競技会の運営と競技力の向上はもとより、県民や地域の方々の健康やスポーツへの取り組み、スポーツの楽しさ、重要性についての啓発も大きな課題といえます。

私も平成21年に会長を仰せつかり4期目となりました。明年の第100回日本混成競技、第43回全国中学をはじめとした各種競技会の成功はもとより、立ち後れている陸上競技関係施設の充実を目指して、国や関係団体に働きかけるなど、これらの実現に向けて微力ながらさらなる努力を致して参りたいと思います。今後とも本協会発展のために、皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## 新任のご挨拶

## 組織決定と連携を重視して

代表理事 理事長 内山 了治



長野陸協代表理事 理事長を4月（正式就任は6月）から仰せつかっております。もとより浅学非才の身で、理事長としての器も中身も備えておりませんので、まずは会員の皆様をはじめ長年サポートして頂いている企業や団体の皆様方に、相変わらぬ絶大なるご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。そして、8年間という長きにわたり事務局をご担当された細田前理事長、杉崎前総務委員長はじめ東信陸協、上田陸協の皆様方に心から感謝申し上げます。また、今回の理事27名のうち18名は現役世代で、当然ながらそれぞれの職場に於いても重要な役割を求められる年代でもあり、陸協業務の上乗せは相当な困難を来します。現役を退かれた先輩の皆様方におかれましては、どうぞこれまで以上に、長年のご経験や実践知に基づいた高所大所からのご指導を頂ければ幸甚です。

さて、本協会をご承知のとおりH24年2月に法人化され納税義務など社会的責任が明確になり、選手強化はもとより、強固な組織力で協会、各種事業並びに競技会運営などの遂行能力が求められています。来年は第100回日本選手権混成競技、第43回全国中学、本協会創立70周年事業など、通常業務の他、特別の大会や事業が連続します。

これまで半年間、協会運営も競技会運営も「各部署の力強い連携」をKey Wordとして、チームワーク力の向上と情報の迅速化・共有化を図り、競技会は審判部長と競技部長を中心とした理事間の連携、選手の普及強化はTrainingとConditioningの関係を密にした発想により、各部署等の連携を強化させ進めています。このように競技運営と選手強化を軸として、東京オリンピック・パラリンピックの舞台に選手や競技役員を送り込めるように、2巡目の国体開催に向けた協会組織力の充実・向上と選手育成強化、そして今後の競技会と事業の成功に向けて、微力ながら最善を尽くす所存ですので、より一層のご指導ご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

## 特別寄稿



(公財) 日本陸上競技連盟  
理事 競技運営委員会  
鈴木一弘 委員長

「第 99 回日本陸上競技選手権大会混成競技・第 31 回ジュニア日本陸上競技選手権大会混成競技」を振り返って



本競技会は長野県長野市で開催されるようになって 4 回目を迎えましたが、参加した JTO の報告を第 1 回開催時から読ませていただいていたので長野陸協の方々の手探りでこの競技会を作り上げてきていることは十分に承知しておりました。雷雨で中断し日没後に自動車の照明を使用したり縁石にペンライトを固定したりして最終種目を行うなど、大変なご苦勞を積み重ねていらしたことも報告で伺っておりました。そして昨年、十種競技で日本記録が更新されたことから「アスリート・ファースト」の運営が為されていることを伺い知りました。

そのような予備知識を持ちながら今回初めて競技会に参加させていただきましたが、聞きしに勝るとはこのことでしょう。大型の電光掲示盤のない競技場でしたが、それを補うべく作られた成績表示盤、種目ごとの表彰におけるプレゼンターとアナウンスなど競技会を盛り上げる工夫が随所に盛り込まれておりました。タイムテーブルにしましても臨機応変に組み替えて対応するなど競技者に記録を出させるような配慮が為されておりました。

様々なところに配慮が為されておりましたが、競技規則についても厳密に運営がされていました。今回は残念ながら日本記録の更新はなりませんでしたが、このような運営ならばまた近々日本記録の更新も為されるものと確信いたします。

長野陸上競技協会の皆様のご尽力・ご協力に感謝しつつ、来年も更に創意工夫が為され盛り上がる競技会になることを期待して拙稿を納めたいと思います。

8 年間 お疲れ様でした

長野陸協理事 細田 完二 前理事長

「8 年間の任期を終えて」

東信地区としては、初めての県陸協の事務局を上田陸協でお引き受けし、8 年間努めてまいりました。

8 年間は、本当に長かった訳ですが、色々な意味で懐かしい激動の 8 年間であった様な気がします。最初の 1, 2 年は慣れるまでの時期でありました。その後、法人化に向けての動きが出始め、その準備に着手し、一般財団法人長野陸上競技協会が新たに発足しました。又、県内にも大きな大会をと言うことで、日本選手権混成大会を誘致し、長野市で実施する事が出来、今年で 4 回目を行った訳ですが、年々審判の技術も上達し、日本陸連との繋がりも深くなったと思われまます。

その頃、宮坂総務委員長の急な退任と言う様な事で事務局の新体制、特に杉崎新総務委員長(前経理委員長)、内堀庶務部長を中心に、仕事の分担の見直しと、宮坂前総務委員長からの引き継ぎが本当に大変でありました。その後、何とか体制が落ち着いて無事に任期を終える事が出来たのも、県陸協の皆様方のご指導ご協力があったからと心から感謝申し上げます。

最後になりますが、微力であった私を、この 8 年間、県陸協の皆様方、事務局員の力強いスタッフに支えられて努めてこられた事、その内の 4 年間を日本陸連理事として、貴重な経験が出来た事も重ねて感謝し、8 年間の任期終了報告とさせていただきます。

長野陸協理事 杉崎 憲雄 前総務委員長

「事務局顛末記」

平成 19 年 4 月、長野陸協史上初めて東信地区に事務局が移転し、不慣れな中、市町村対抗駅伝競走大会が松本市制 100 周年記念大会として 8 区間 39.3km, 57 チームの参加で、松本城スタートの市街地コースで行われました。この年の秋には、第 1 回北信越中学校駅伝が開催されました。

平成 22 年 1 月法人化特別委員会を立ち上げ、日本陸上競技連盟の基本方針である「公益法人制度改革の枠組みの中で、陸上競技の社会的位置づけに鑑み、各加盟団体の法人化推進」に基づき、議論を重ねた結果、経過報告会を開催するなどして承認され、平成 24 年 2 月 16 日を以って、設立登記となり一般財団法人として法人格を取得しました。

また、平成 24 年 6 月には長野県開催複数年の初年度となる日本陸上競技選手権大会混成競技及び日本ジュニア陸上競技選手権大会混成競技が行われました。長野陸協の総力を挙げて準備に取り組みました。

平成 26 年 1 月、第 19 回全国都道府県対抗男子駅伝において、天皇盃となって初めてとなる 5 年ぶり大会最多の 6 回目の優勝を果たすことができました。

様々な事を体験させていただいた 4 期 8 年でした。長野陸上競技協会の事業推進にあたり、関係各位の皆様方のご協力に感謝申し上げます。

# 長野陸協 主催・主管事業

## 4月 第17回 長野マラソン

長野陸協理事 会長代行（副会長） 伊藤 利博



第17回長野マラソンは好天の中、事故も無く無事終了する事が出来ました。これも一重に競技運営に携わった長野陸協の審判員の皆様、又一年掛けてこの日のために準備を進めてこられた多くの方々のお陰だと感謝の気持ちで一杯です。

私は毎年全国から長野マラソンに参加されるランナーが、「今年も素晴らしいマラソン大会であった、又来年も長野に来たい」と言って帰っていただけるように、一年掛けて準備を進めて来ました。この大会が終わると、陸協を含め、実務者会議で反省会を開き反省点は二度と繰り返さない、又良い点は更に伸ばして行くように常にフレッシュなアイデアを持って実施して来たことがランナーに好印象を与え、人気のマラソンに成長し、持続して来たと思います。

最近ではマラソンブームに乗って、各地で万人規模のマラソン大会が誕生しております。北陸新幹線が金沢まで延伸したことにより、富山県、石川県でもこの秋から実施されます。

長野マラソンが、更に満足度を高める競技運営、選手達への対応等、まだまだ心を持って対処していかなければならない反省点も多くあるかと思えます。

長野マラソンの人気の秘密は、ボランティアのホスピタリティ溢れる対応、沿道市民の声援、大会運営等かと思えます。我々陸協のやるべき点をもう一度原点に戻り、審判員の心構えを真剣に考える時期かと思えます。例え



長野県選手権マラソン女子表彰  
左から優勝中澤・鹿野・小林・南波・佐塚・川上・島田・8位松澤



長野県選手権マラソン男子表彰  
左から優勝小山・北沢・利根川・岩淵・牛山・柳澤・羽川・8位田畑

第68回長野県選手権大会(マラソン)結果		
期日：平成27年4月19日		
場所：長野オリンピック記念マラソンコース		
※第17回長野マラソン同時開催		
【男子マラソン】		
①	小山 祐太 (コトヒラ工業)	2:23:03
②	北沢 正親 (コトヒラ工業)	2:24:08
③	利根川 裕雄 (アルプスツール)	2:25:37
【女子マラソン】		
①	中澤 恵美 (長野市陸協)	3:01:48
②	鹿野 恵利子 (長野市陸協)	3:05:54
③	小林 美香 (長野AC)	3:06:39



ば、早く終わった審判員は、早く帰るのでは無く、全国各地からやって来た選手達の応援にまわり、5時間と言う大変厳しい時間規制の中で走る選手達に熱い声援を送り、一人でも多くの選手達が完走目指して走れるような雰囲気作りをするのが、私達長野陸協の責務ではないかと思えます。

この大会から、長野県選手権大会のマラソンの部として扱っていただける事になり、長野県の長距離選手の育成に期待が持たれます。関係者各位に心より感謝申し上げます。

長野マラソンは、早朝集合ということもあって毎年審判員が不足しております。県下各地の審判員の皆様で、ご都合付く方はぜひご協力をお願いしたいと思います。皆様方のご協力に感謝し、報告とさせていただきます。

### 4 月 第 25 回市町村対抗駅伝大会

#### 長野陸協理事 副会長 下川 泰秀



長野冬季五輪の成功を県民あげて盛り上げようという願いを込めて始まった本大会も、長野五輪終了後も続けられ今年で 25 回目となりました。市町村の参加率も当初の 42%から 74%になり市町村対抗駅伝の名に恥じない大会となってきました。

第 25 回大会を振り返ってみると、一般の部では終始トップで他を寄せつけなかった長野市の独走と大差による 3 年連続 18 回目の優勝がなんといっても光ります。9 名中 7 名が区間 3 位以内の走りをしており見事というより他ありません。二位の上田市は、この 10 年間 5 位以内の入賞を続けており、今回も区間 3 位以内が 4 名もいたのですが今一步のところ優勝に手が届かなくて残念でした。

全チームをみると町村チームの頑張りがみられ、特に売木村・下條村・高森町・富士見町・木島平村では過去最高の順位を挙げています。また、昨年より 10 位以上順位を上げたのは 7 チーム(市 2・町 3・村 2)逆に順位を下げたのも 7 チーム(市 2・町 1・村 4)ありました。

小学生の部では、3 秒の中に 4 チームが入るという大激戦での優勝争いでしたが、長野市が上田市をかわして 2 年連続 5 度目の優勝を果たしました。

過去最高の成績(順位)を出したのは伊那市・大町市・木島平村・軽井沢町・佐久穂町でした。逆に過去最低となったのは南信 6・中信 3・北信 3・東信 3 の 15 チームでした。昨年より 10 位以上順位を上げたのは南信 3・中信 5・北信 4・東信 2 の 14 チーム、逆に下げたのは南信 6・中信 2・北信 5・東信 3 の 16 チームでした。

一般とちがって毎年メンバーの入れかわる小学生チームでは安定した力を発揮することは難しいことで人口の多い市部が有利なのはいなめませんが、松川町・南箕輪村・坂城町などは常に 20 位以内なので予備軍の育成にも力が入っていることがうかがえます。

一般でも小学生でも、地域ぐるみで支援体制の出来ているところや年間通して指導育成(練習)しているチームは安定していて力を発揮しやすく結果につながっているように見受けられます。

運営面では審判員・補助員は人数的にはカバーできて良かったが、連絡・通信等についてはよりきめ細やかさが求められる大会でした。

### 6 月 第 43 回長野県実業団、県マスターズ大会

#### 長野陸協理事 副会長 中條 延太郎



第 43 回長野県実業団陸上競技選手権大会、第 26 回長野マスターズ陸上競技選手権大会が去る 6 月 14 日、心配されながらも初めて佐久の地で開催することが出来ました。会場の佐久総合運動公園陸上競技場は、平



佐久市運動公園陸上競技場 (JAAF 第 2 種公認陸上競技場)

9 レーン全天候ブルーサーフェストラック。スタンドには障害者に配慮した屋根付きスペース(写真左)も完備されている。

成 25 年 4 月 1 日にオープンしました。競技場は佐久平の猿久保に位置し、自動車佐久平駅から 20 分、小海線中込駅か 10 分という好位置にあります。競技場からは北に浅間山、西に北アルプス、八ヶ岳連峰を望む素晴らしい景観の中、9 レーンのブルートラックに、実業団約 100 名、マスターズ約 450 名の選手を迎え開催されました。

マスターズ競技会では、世界記録が誕生し、日本新記録 2、大会新記録 28、大会タイ記録が 1 という誠に素晴らしい数々の新記録が樹立された充実した大会でした。以前、アスリートから聞いた「ブルートラックは目に優しく心が癒され、記録の出るトラック」という話を思い出したが、全くそのとおりだと痛感致しました。これもひとえに多くの関係各位の皆様方のご支援、ご協力の賜と深く敬意を表し、心から感謝を申し上げます。

このような素晴らしい結果の陰には、大会実施までの過程においては幾多の苦難がありました。先ず、競技場の問題、審判員確保、用器具の問題等々ありましたが、これも全て大勢の皆様方のご協力と常に前向きな姿勢で取り組んで頂いた結果、全て解決されこのような大会を実施することが出来ました。本当に感謝です。

競技運営につきましては、審判員 100 名程でしたが、それぞれの部署で協力しながらミスもなく、上手に運営することが出来ました。参加選手につきましては一部、競技注意事項が守れなかった点もありましたが、それぞれが相手の立場を尊重、理解し合いながら、和やかな雰囲気うちに終了することができました。最後の別れの時には、特に関東地方の方々は、来年も是非この佐久の地で開催して頂きたいとの言葉を口にして別れていきました。多くの方々から、佐久の地の景観の素晴らしさと、ブルートラックに称賛を頂きました。

このように、佐久の私達は本当に良い、貴重な体験を指せて頂き、心から深く感謝を申し上げます。今年度得た貴い経験を基に、来年度も是非続けて佐久の地で開催できますよう、お願い申し上げながら、簡単ではありますが総評と致します。



松本平陸上競技場 スクリーン操作室内のモニター

7月 第99回日本陸上競技選手権混成競技  
第31回日本ジュニア陸上競技選手権混成競技

長野陸協実行委員会副委員長 内山 了治

■ 十種競技 右代選手, 中村選手が世界選手権へ ■

第15回世界選手権の日本代表選考競技会を兼ねた標記大会が7月4-5日に長野市営で開催された。今年は6月3日(水)~7日(日)に中国武漢で行われた第21回アジア陸上競技選手権大会のため、例年より約1ヶ月遅れの開催となった。今回のポイントは、十種競技では、北京世界選手権の参加標準記録8100点をだれが突破し出場権を獲得するか、七種競技では新女王が誕生するか、また、運営サイドでは本協会の主管が4回目となり競技日程どおり順調に実施できるかにあった。

当日は天候には恵まれたものの、2日間とも気温が21~25℃、湿度は1日目が71~87%、2日目が51~77%と過去3回よりはどちらも高めとなり、やや厳しい条件となった。しかし競技は白熱し、注目を集めたのは潜在力を秘めた十種競技の音部選手であった。初日はまず100mで十種競技最高(中村選手の10秒52)に迫る10秒53(968点)自己新、走幅跳・走高跳ともにトップ記録で自己新となる7m43(918)、2m03(831)をマークし、4191点で首位に立った。続いて中村(4149)・川崎(4063)そして右代(4052)選手の4名が4000点を超えるハイレベルな戦いとなった。

七種競技は桐山選手とヘンプヒル選手の争いとなり、砲丸投でリードした桐山選手が9点差で首位にたつた。

2日目は、音部選手は円盤投で自己ベスト38m97(644)をマークしたが、右代選手が49m33(856)を投げここで逆転しトップに立ちやり投げでも差を広げ逃げ切った。

七種競技は走幅跳で桐山選手が6m01(853)で差を広げたが、やり投で8点差に詰め寄せられ、800mでヘンプヒル選手が2分17秒で逆転し初優勝を決めた。

ジュニア十種競技は川畑選手のジュニア日本記録(音部・7195点)更新が期待されたが、苦手な1500mであと3秒



七種競技 新女王誕生 左から桐山・ヘンプヒル・澤田・伊藤選手



十種競技 右代6連覇 左から中村・右代・音部・川崎・清水選手

(自己タイ記録=4分48秒で更新)、16点足りず、非常に残念な結果であった。ジュニア七種競技は9名の戦いとなり、低記録ながら吉村(長野高3)選手が7位に入賞できた。

運営面では、今年度の役員交代によりこれまでの理事会と実行委員会のパラレルの関係が解消され、玉城副理事長(副実行委員長)、青柳競技運営委員長(審判部長)と横打競技部長を中心とした競技運営の軸がしっかり機能し、4年目にしてようやくほぼ競技日程どおり終了できた。ご指導頂いた日本陸連の皆様方、共催頂いた信濃毎日新聞社様、長野市・長野市教育委員会の皆様方、ながの観光コンベンションビューローはじめご協力いただいた皆様方、そして大会・競技運営にご尽力頂いた会員と補助員に心から感謝申し上げます。

第99回日本陸上競技選手権大会(混成競技)結果				第31回日本ジュニア陸上競技選手権大会(混成競技)結果				
順位	十種競技 選手名/所属	総合 得点	七種競技 選手名/所属	総合 得点	ジュニア十種競技 選手名/所属	総合 得点	ジュニア七種競技 選手名/所属	総合 得点
1	右代 啓祐 ウシロ ケイスケ スズキ浜松アスリートクラブ	8058	ヘンプヒル 恵 ヘンプヒル メグ 中央大	5622	川畑 夏唯 カワハタ カイ 近大高専	7179	シュレスタ まや シュレスタ マヤ 東大阪大敬愛高	4971
2	中村 明彦 ナカムラ アキヒロ スズキ浜松アスリートクラブ	7947	桐山 智衣 キリヤマ チェ モンテローザ	5536	岸川 勇 キシカワ ユウ 日本大	6690	遠山 実希 トオヤマ ミキ 中京大中京高	4848
3	音部 拓仁 オトベタクミ 富士通	7725	澤田 珠里 サワダ ジュリ 東京学芸大	5250	大岡 健 オオオカ タケン 関西学院大	6658	大野 優衣 オオノ ユイ 白梅学園高	4838
4	川崎 和也 カワサキ カズヤ 順天堂大	7679	伊藤 明子 イトウ アキコ 筑波大学	5204	奥田 啓祐 オクダ ケイスケ 東海大	6558	藤沼 朱音 フジヌマ アカネ 中央大	4784
5	清水 剛士 シミズ ツヨシ 中京大	7634	宇都宮 絵莉 ウツノミヤ エリ 園田学園女子大	5154	清水 陽春 シミズ アキハル 日本体育大	6543	田中 恵子 タナカ ケイコ 山田高	4315
6	能登谷 雄太 ノトヤ ユウタ ニューモード	7492	西村 莉子 ニシムラ リコ 立命館大	5142	森 遼河 モリ リョウガ 国士館大	6413	今井 真優美 イマイ マユミ 順天堂大	4240
長野 出身	村中 智彦 ムラナカ トモヒコ 順天堂大 ← 松商学園高	13位 7042	佐藤 静香 サトウ シズカ 新潟医療福祉大 ← 小諸高	13位 4712	長野県出身者の出場無し		吉村 彩加 ヨシムラ アヤカ 長野高	7位 4139
			川上 美葉 カワカミ ミハ 国士館大 ← 小諸高	18位 4488				

注) : 白抜き数字が自己新記録

8 月 第 58 回東海選手権・第 1 回東海小学生



理事 競技運営委員長 青柳 智之

8 月 22 日(土)・23 日(日)に、本県では 5 年ぶりの開催となる東海選手権が開催されました。今年度より、従来併設されていた東海小学生リレー競走大会に加え、全国小学生陸上競技交流大会で行われる種目の県大会 2～6 位の選手が出場できる東海小学

生陸上競技大会が初めて実施される大会となり、前例がない中での試行錯誤の競技会準備が進められました。一番苦慮した点は、やはり通常の東海選手権の競技日程の中に、どのように小学生大会を入れていくかというところでした。横打競技部長中心に検討をしたものの東海陸協事務局の理解が得られず、今回のような 2 日目が「9 時競技開始、18 時競技終了の見込み。最短 3 分ダイヤ」という大変タイトとなる日程を組まざるを得ないという結果となり、頭を悩ませました。また、全中に向けての競技場改修の一環として、磁気反転式の大規模表示板から LED による電光掲示板(スクリーン)へ更新されてから初めての競技会運営でした。講習会や運用のテストは実施いたしましたが、競技会での使用はなく、まさに「ぶっつけ本番」という中で本大会を迎えることも不安の一つでした。

さて、天候に恵まれた中迎えた競技会当日…全中開催 1 年前ということもあり、多くの中体連役員が北海道全中へ行ってしまっているという、競技役員編成的にも厳しい状況でありました。また、今年度導入されたばかりの不正スタート制御装置、走幅跳距離測定器、電動棒高跳支柱等を使いこなしながらの競技会運営となりました。そのような中、細田ディレクター中心に各部署の連携により、ほぼ定刻で競技会の進行をすることができたことは、長野陸協の底力を見せることができたと思います。これも、日本選手権混成大会の運営、2 年目を迎えた競技進行表に基づいた進行・ディレクター制を取り入れた競技会運営、BGM を活用しながらイベントプレゼンテーションの要素を取り入れた“魅せる競技会”への意識など、日頃の研鑽の賜物だと思えます。「周回記録板は一旦片づけたほうがいいよね」「レース中の片づけは一旦止めましょう」「砂場のカバーはスタンドから見えない下の段に置こう」など、各部署からそのような声が挙がること自体、長野陸協の大会運営能力が向上しているなあと嬉しく思います。本当にありがとうございます。この場を借りて感謝申し上げます。

来年度はいよいよ全中を迎えます。今回のような大会運営ができる長野陸協であれば、自信を持って全国各地から選手を受け入れることができると思います。全中実行委員会と協力しながら、大会成功に向けて一丸となって頑張っていきたいと思います！

Topics-1 スクリーン竣工

松本平広域公園陸上競技場



理事 情報システム委員長 葛城 光一

県松本平運動公園陸上競技場の設備更新で、ソニービジネスソリューション(株)社製の大型映像装置が導入されました。これにより、多彩な映像表現(カメラ映像、競技データ、選手名、大会ロゴ等)を大型映像画面に表示できるようになり、魅力的な競技会演出が可能となります。

また、ハイビジョン放送室設備は、アマチュアによる利用も可能な設計が施こされ、操作係の審判員が容易に操作可能な設計になっています。また、タブレットからの遠隔操作も可能です。

平成 27 年 8 月 22 日・23 日に開催された「第 58 回東海陸上競技選手権大会」で、この「スクリーン<sup>※</sup>」がお披露目されました。いままでカタカナ表示のみ、色も 4 色までと制限がありましたが、これからは、漢字で表示可能となり、動画も再生できるようになります。

装置は 5 台の固定カメラで撮影され、また、1 台の移動式カメラ(ワイヤレス方式)での撮影も可能です。スタートリストやリザルトなど競技会のデータは、既設の競技会記録処理システム「Mark5(セイコータイムシステム(株))」と連動し、スクリーンに表示されます。動画の活用も大いに競技会を盛り上げてくれそうです。動画は予め撮影アングルを設定しておくことができるので、スムーズな映像切替が可能です。これまでは見られなかったフィニッシュ映像のスロー再生も可能となりました。

操作のトレーニングを何度か行い、万全ではありませんでしたが、東海選手権大会に於いて使用することができました。今後も操作のトレーニングを積んで、競技会での動きのある演出ができるよう、係も張り切っています。来年開催の全中までに、いくつかの大会で操作を経験し、より良い競技会運営(演出)に役立つようになればと思います。

操作のトレーニングを何度か行い、万全ではありませんでしたが、東海選手権大会に於いて使用することができました。今後も操作のトレーニングを積んで、競技会での動きのある演出ができるよう、係も張り切っています。来年開催の全中までに、いくつかの大会で操作を経験し、より良い競技会運営(演出)に役立つようになればと思います。

操作のトレーニングを何度か行い、万全ではありませんでしたが、東海選手権大会に於いて使用することができました。今後も操作のトレーニングを積んで、競技会での動きのある演出ができるよう、係も張り切っています。来年開催の全中までに、いくつかの大会で操作を経験し、より良い競技会運営(演出)に役立つようになればと思います。

操作のトレーニングを何度か行い、万全ではありませんでしたが、東海選手権大会に於いて使用することができました。今後も操作のトレーニングを積んで、競技会での動きのある演出ができるよう、係も張り切っています。来年開催の全中までに、いくつかの大会で操作を経験し、より良い競技会運営(演出)に役立つようになればと思います。

\*注) 今後の陸上競技大会の運営では「スクリーン」と表現することとしました。

第 58 回東海陸上競技選手権大会
第 1 回東海小学生リレー競走大会
開催日 平成 27 年 8 月 22 日・23 日
会場 松本平広域公園陸上競技場
松本へようこそ

# 各種全国大会の結果

## 和歌山インターハイを振り返って

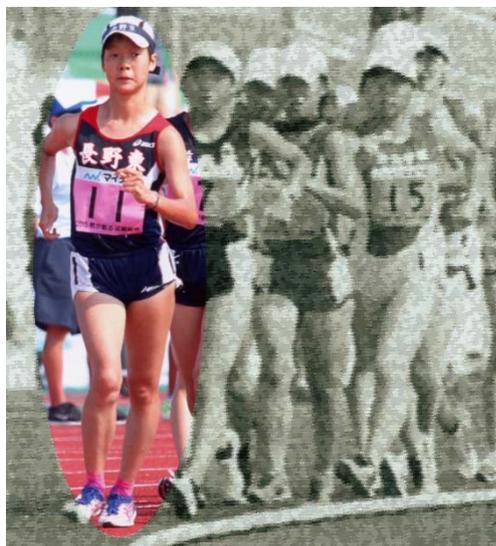
長野東高校 3年 溝口 友己歩

1年のインターハイでは予想もしなかった7位入賞ができ、昨年はインターハイ優勝を目標にのぞみましたが、前半から先頭争いに加わることができないまま、3位という結果でした。この大会後に「来年こそは優勝」という目標が明確になりました。しかし、秋のシーズンからなかなかタイムも伸びず、故障や体調不良があり、満足な冬季練習は積めませんでした。そんな中でも、長い距離への対応できる手応えをもてる練習も少しずつできるようになりました。

今シーズンに入っても、トラックレースでは思うような記録が出ずに、焦る気持ちもありましたが、インターハイ優勝は私一人の目標ではなく、チームの目標として多くの仲間が共に目指してくれることがとてもうれしく、インターハイに向けて少しずつ状態が良くなっていました。

和歌山の夏は今まで経験したことのないような蒸し暑さでした。予選は確実に順位で決勝進出と動きの確認をするというレース目標で臨み、今年一番の状態であることを確認できました。決勝は前半はリズムに乗って歩き、後半ロングスパートというレースプランを持っていました。レースが始まると思った以上に前半から体が動き、自分を信じて、周囲を気にすることなく自己記録を更新するペースで歩くことができました。後半は苦しさもありましたが、チームの皆が支えてくれ、共に頑張ってきたという思いが自分の心と体を動かしてくれました。結果的に自己記録を更新でき、目標であったインターハイ優勝ができました。

私にはこのインターハイ優勝は通過点です。夢はオリンピック出場なので、今まで支えてきてくださった方々やお世話になった方々への感謝を忘れず、目標に向かって努力を積み重ねていきたいと思えます。



## 和歌山インターハイから東京オリンピックへ

副理事長 玉城 良二 (長野東高校)



気候的暑さと高校生の競技に懸ける情熱により、毎年インターハイはまさに熱き戦いが繰り広げられる。今年和歌山の地にてインターハイが開催され、長野東高校の溝口友己歩は5000m競歩において、3年連続入賞を優勝で飾るという快挙を成し遂げた。

1、2年とそれぞれ7位、3位と入賞をし、今年は「優勝」という明確な目標のもとに、昨年のインターハイ以来取り組んできたが、秋以降はなかなか記録の向上がみられず、故障や体調不良を繰り返してきた。しかしながら、2月頃より長距離への対応ができるようになり、本人も手応えを少しずつ得られるようになった。インターハイまでの予選では順位こそ目標通りであったが、記録的には満足できる状態ではなかったが、本人の目標実現への気持ちは揺らぐことはなかった。また、インターハイは予選、決勝と2日続けて競技があり、そのために、県、北信越の競技の翌日に3000~5000mWを1本入れる対策をとって本番に臨んだ。

大会においては、予選は状態確認、決勝は自分の勝ちパターンのレースを思い描いていた。決勝では猛暑の中で想定以上、自己記録以上のペースでレースを進めた。本人は自信があったのかわからないが、見ている方は後半のスタミナが不安であった。しかし、その不安も見事に裏切られ、中盤以降は独歩となり、まさに高校チャンピオンにふさわしいレース展開で優勝を成し遂げてくれ、記録以上に溝口友己歩の強さを感じさせられた。

和歌山インターハイで県内選手は溝口の優勝、松商学園の樋口君の200m4位、長野日大の石井君の5000mW8位と3名の入賞であったが、共に今後に期待を持たせてもらえる好記録であった。

さて、オリンピック出場はアスリートの夢ですが、2020年東京オリンピック開催は、若きアスリートにとっては単なる夢ではなく具体的な目標となりました。本県でも長野県教育委員会がオリンピック育成支援という事業を立ち上げ、長野県からオリンピック輩出を目指し始めました。長野陸上競技協会としても、選手育成強化の目標をオリンピックという目線まで上げていくことが求められます。しかし、都道府県陸協レベルの選手育成はジュニア期が中心となり、日本のトップレベル競技者の強化は直接的には関わることが難しく、費用的にも厳しい現実です。長野陸協に求められることは、今まで同様に普及強化事業に力を入れ、全中開催等の盛り上がりを利用しながら、競技者にオリンピック出場という、より高いレベルの目標を意識づけていくことが重要と考えます。

## 「2015 君が創る近畿総体―陸上競技―」

長野県高体連陸上競技専門部委員長 小林 至

本年は、和歌山県で 7 月から 8 月にかけて高校総体、そして 10 月に国体が開催されるという年となりました。紀三井寺陸上競技場はこぢんまりとしていて、使い勝手の良い競技場でした。しかし、高校総体の時期は、暑くて選手にとってかなり厳しいものでありました。また、競技場付近の宿泊が限られ、連日競技に通うために 60 分かかるに宿舎が割り当てられた学校もありました。さらに和歌山市内の交通渋滞もありました。参加するチーム・選手は大変であったと思います。また、開催県も多くの選手や観客を迎えるため、準備や運営面で大変だったことと思います。10 月の国体は気候の良い時期に行われますので、一度戦った和歌山県で長野県の高校生がおおいに活躍してほしいと思っています。

さてインターハイ県勢の成績はもう周知のことですが、女子 5000m 競歩で溝口さん(長野東)の優勝、男子 200m で樋口君(松商学園)が 4 位、男子



5000m 競歩で石井君(長野日大)8 位入賞という結果となりました。おめでとうございました。気象条件が厳しい真夏のインターハイで、自己記録の更新は難しいものです。今回、自己記録を更新した県内選手は、出場した 50 種目中 12 種目でした。インターハイの記録を見れば、県内選手がインターハイで自己記録を更新できれば、それなりの結果＝入賞や次ラウンド進出が来てくると感じました。大きな大会で自己記録の更新は難しいものですが、準備、挑戦、調整など手立てを尽くして迎えることができれば可能かと思えます。

インターハイの競技を前に、全国高体連陸上競技専門部の会議がありました。まだ正式決定ではありませんが、2 年後の山形インターハイでは、女子の棒高跳・三段跳・ハンマー投 3 種目の導入が前向きに進んでいると報告がなされました。現高校 1 年生が 3 年生の時には、念願の高校総体の種目になりそうです。また、全国高校駅伝については、本年が京都開催 50 周年の節目にあたるため、5 年ごとの記念大会と同じように地域ブロック(本県は北信越ブロック)から各県優勝校を除いた最上位 1 校が男女とも全国大会に参加できるという報告がありました。

プロ野球選手が、チームの春季キャンプの前に、紀三井寺の階段で自主トレーニングに励む様子をテレビで見たことがあります。その階段(紀三井寺)を見学に行ってきました。階段を登るところに看板があります。

「是より上 210 段、是より上の登段最速記録 21 秒 9 (元



陸上 100m 日本記録保持者・青戸慎司選手)」とあります。斜度がきつく規則的でない階段・硬い石段で、一流選手がトレーニングに励んだようです。様々な環境で自分自身を鍛えたことでしょう。自分たちの練習に置き換えてください。雪や雨で練習場所が限られるときもありますが、工夫しだいでいくらかでもトレーニングができるものです。目標の達成のために大いにトレーニングに励んでほしいと思います。

今シーズンも残りわずかとなりました。最後に紀三井寺の看板には、「無謀な挑戦はおやめください」とあります。自分の力を知りくれぐれも体を壊さないようにトレーニングに励んでください。さらなる長野県内の高校生の活躍を期待しています。

## 全国中学大会の総評と長野全中へ向けての展望

理事 長野県中体連陸上競技専門部委員長 酒井 剛 (菅野中学校)



今年度の全日本中学校陸上競技選手権大会は、8 月 18 日(火)～21 日(金)に北海道札幌市厚別公園陸上競技場で開催され、本県からは個人 22 名(計 24 種目)とリレー 2 チーム(12 名)の合計 34 名(計 26 種目)がエントリーしました。

本大会はここ数年、参加標準記録が次々と上がる傾向にあり、今年度も前回大会からは 3 種目において標準記録が上げられていたため、標準記録を突破して全国大会へ選手を送り込むこと自体苦戦を強いられる予想もありました。その中で、前回大会(個人 21 名 28 種目、リレー合計 32 名 30 種目)とほぼ同数の選手団を全国の舞台へ送り込めた背景には、来年度本県開催となる長野全中に向け、長野陸協からの多大なるご支援により、選手強化策を図っていただいていることに加え、競技会においても、審判員の皆様に大変質の高い競技運営を行うことで、選手の活躍を後押しして下さっていることが大きな要因であることは言うまでもなく、心より感謝申し上げます。



男子100m予選3着  
11秒00(+3.6) 中嶋君(清水中3)



さて今年の北海道全中は、男子3000mにおいて松崎咲人君(塩尻広陵)が決勝で15位になったのが最高成績で、次いで女子200mの小林叶音さん(豊科北)、女子800mの高安結衣さん(鉢盛)、女子400mリレーの波田(中沢楓香さん、斉藤楓花さん、三田尚果さん、樋口虹夏さん)がそれぞれ準決勝進出という結果でした。気温が20℃を下回り、5mを超える北寄りの風が吹く難しいコンディションの中、選手たちは自己ベストの更新や入賞を目指して懸命に競技に臨みましたが、全国の壁に跳ね返される結果となりました。中でも男子3000m決勝では、松崎君が優勝争いを展開するも、ラスト350mで複数の選手による転倒に巻き込まれ、惜しくも入賞(優勝)ならずといった惜しい場面もありました。

全中開催の前年大会はホスト県にとって、次年度の活躍を期待させる雰囲気や勢いを全国に示してることが求められ大変重要な意味を持ちます。今年の北海道全中においても、もちろんそのことを目標に掲げ、複数種目での入賞を目指しておりましたが、入賞0(ゼロ)という厳しい結果に終わりました。多大なるご支援と期待をいただいている中で、このような結果に終わってしまったことに、まずはお詫び申し上げます。そして結果を真摯に受け止め、TEAM NAGANOとして足りない部分を補うよう努力をして参ります。

今大会において学んだことはいくつかありますが、来年の長野全中を目指す上で重要であると考えられる点を以下にまとめてみます。まず、例年同じ事は言えるのですが、全国大会へ出場できるだけで満足してしまう選手が多い傾向にあります。もう一度標準記録並みの成績が出せれば、全国でも入賞や準決勝進出はかなり期待できます。「全中で入賞する」「全中で闘う」という闘志が、チームとしてやや不足していたと考えられます。また、漠然と「入賞」とか「勝負」と言っているものの、記録やレース展開などの分析が具体的にできていなかったことも挙げられます。アクシデントに見舞われたものの、男子3000mの松崎君は、レース展開やタイム設定、ピーキングなどに関して細かく分析し、周到に準備していました。あまり記録や順位のみ固執しすぎても良い結果は望めませんが、目標を達成するための具体的な数値の分析は、少なからず監督・コーチ陣はしておかなければなりません。これについては早々に分析を行い、この秋に行われるジュニアオリンピックにおいて実践する予定です。次に、種目にもよりますが、全国のトップレベルとの力の差を痛感しました。男子100mにおいては、追い風参考記録ながら、10秒98で予選落ち(本県代表の中嶋君も11秒00(+3.6))というハイレベルでした。前述にも通じる部分ですが、全中標準記録突破に満足することなく、食欲に次ラウンド進出レベル、入賞レベルを視野に入れ、その差を詰めていくことが求められます。

先日行われた新人大会では、東北信大会・中南信大会合わせて10の大会新記録と2つの大会タイ記録が誕生しました。来年の長野全中で活躍が期待される選手たちが順調に育ってきていることがうかがえます。今年の北海道全中の反省とこれまでの強化策を振り返り、1年後にしっかり闘えるTEAM NAGANOを作り上げていきます。長野陸協会員の皆様には、今後ともご支援とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第 31 回全国小学生陸上競技交流大会総評

理事 普及部長 橋 麗仁



今年の全国小学生陸上競技交流大会は、8月21日～22日に横浜日産スタジアムで開催されました。長野県選手団からは、男子走幅跳で伊藤司騎君(望月AC)が見事3位入賞を果たしました。大舞台でも臆することなく、1回目から5m超えの大きなジャンプができたことが上位入賞につながりました。桐生祥秀選手(東洋大)から賞状とメダルを授与され、女子走幅跳日本記録保持者の井村久美子さんからインタビューをされるなど、素晴らしいご褒美をもらいました。入賞者は1名でしたが、5名の選手がトラック種目で準決勝進出を果たしました。80mHに出場した北川広樹君と市村彩美さん(共に軽井沢A&AC)は、小柄ながら素晴らしいハードリングを見せ、準決勝でも互角に渡り合い決勝進出まであと一歩と迫りました。6年男子100mの市谷颯梧君(附属松本小)は、県予選の記録を大きく縮めて、予選12秒68、準決勝12秒74と続けて好記録をマークしました。5年100mに出場した柳沢隼士君(中込小)、宮原凜成さん(坂城JAC)もそれぞれ準決勝まで駒を進め、来年の飛躍が期待できる走りを見せてくれました。

十分に実力を発揮できず悔しい思いをした選手もいましたが、長野県選手団の仲間をはじめ全国各地からの参加者と交流し競い合った経験は、一人一人の選手の皆さんにとって、大きな財産となったはずです。この素晴



男子走幅跳：伊藤司騎君(望月AC)、自己記録に迫る5m11の大ジャンプ！表彰式後にNHKのインタビュアー井村久美子さんと記念撮影する伊藤君(右端)

第31回全国小学生陸上競技交流大会 長野県選手団結果

種目	氏名	所属	記録	順位	指導者
男子走幅跳	伊藤 司騎	望月 A C (望月小)	5m11 (-0.8)	決 3 位	伊藤一男
6年男子100m	市谷 颯梧	附属松本小	12.68 (+0.5)	予 2 位	市谷雅俊
			12.74 (+0.1)	進 5 位	
6年女子100m	内藤 理木	長野市陸上教室 (湯谷小)	13.73 (+2.1)	予 5 位	原弦太郎
5年男子100m	柳沢 隼士	中込小	13.85 (+0.3)	予 4 位	島田怜奈
			13.88 (+1.1)	進 6 位	
5年女子100m	宮原 凜成	坂城 J A C (村上小)	14.32 (-0.7)	予 2 位	塩野入良夫
			14.12 (+0.2)	進 3 位	
男子80mH	北川 広樹	軽井沢 A & A C (軽井沢中部小)	12.77 (+1.0)	予 1 位	跡部定一
			12.77 (-1.0)	進 3 位	
女子80mH	市村 彩美	軽井沢 A & A C (軽井沢中部小)	13.40 (-0.8)	予 4 位	米川浩司
			13.32 (+2.1)	進 4 位	
女子走幅跳	北原 小遙	東春近小	4m07 (-2.1)	決 37 位	清水秀朗
男子走高跳	田畑 翔汰朗	富県小	1m25	決 37 位	井口誠
女子走高跳	佐野 紗葵	堀金小	1m25	決 26 位	馬場綾菜
男ソフトボール投	村上 隼弥	塩尻西陸上クラブ (塩尻西小)	60m03	決 27 位	市川晃一
女ソフトボール投	池上 桃花	手良小	54m09	決 13 位	轟達也
男4×100mR	勝野 剛 勝野 武 野口 颯太 柳澤 大翔	穂高西 A C (穂高西小)	53.11	予 4 位	佐藤喜男
友好男100m	浅輪 佳大	同上	14.64 (+1.2)	組 7 位	佐藤喜男
女4×100mR	沼野 藍 神谷 京楓 片桐 未音里 白井 祭	豊科北小	56.36	予 7 位	一ノ瀬翔太
友好女100m	平田 緋奈	同上	15.66 (+1.0)	組 7 位	一ノ瀬翔太

らしい経験を、これからの競技、スポーツ、学校生活に生かして行ってほしいと思います。

全国大会参加にあたり、ご指導・ご協力いただいた各チームの指導者・保護者の皆様、長野陸協の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

第 50 回全国高専体育大会 (長野高専入賞者)

期日：平成 27 年 8 月 29 日 (土) ~ 30 日 (日)

会場：福岡県博多の森陸上競技場

北原 廉 (3 年) 800m 1 位 1 分 57 秒 95 (連覇)

岡村 也寸志 (5 年) 円盤投 5 位 35m92

田中 哉太 (4 年) 400mH 6 位 56 秒 59

北原 悠 (5 年) 1500m 8 位 4 分 13 秒 71

第 31 回日本ジュニア陸上競技選手権大会  
第 9 回日本ユース陸上競技選手権大会

期日：平成 27 年 10 月 16 日 (金) ~ 18 日 (日)

会場：瑞穂公園陸上競技場 (パロマ瑞穂スタジアム)

■【ジュニア】手塚：800m5 位，小野：走高跳 7 位

800m 5 位 1:54.19 手塚 将弥 日本体育大(1)

予選 4 着 1:52.34

100m 予選 6 着 10.98 (+0.4) 中野 涼介 筑波大(1)

400m 予選 3 着 49.08 池田 仁 東洋大(1)

400m 予選 7 着 50.34 浅川 優人 明治大(1)

800m 予選 4 着 1:53.72 中島 大智 信州大(1)

走高跳 17 位 2m05 芋川 駿 法政大(1)

棒高跳 11 位 4m90 松澤 勝治 上伊那郡陸協

<女子>

走高跳 7 位 1m70

小野 美紗 日本女子体育大(1)

走幅跳 21 位 5m49 (-0.5)

西村 千明 伊那北高(3)

■【ユース】

樋口：200m 3 位，内山：棒高跳 7 位  
200m 3 位 21.35 (-0.9)

樋口 一馬 松商学園高(2)

棒高跳 7 位 4m70

内山 朋也 長野吉田高(2)

100m 予選 6 着 10.95 (+0.7)

樋口 一馬 松商学園高(2)

三段跳 23 位 13m79 (-0.2)

増子 良平 松商学園高(2)

<女子>

走幅跳 16 位 5m61 (-0.1)

田村 有利奈 上田東高(2)

三段跳 15 位 11m29 (+0.4)

田村 有利奈 上田東高(2)

第46回ジュニアオリンピック 速報

理事 普及強化委員会ジュニア部長  
宮澤 真一

期日：平成27年10月23日(金)~25日(日)

会場：日産スタジアム(神奈川県横浜市)

お陰様をもちまして、標記大会では2種目において入賞することができました。女子リレーでは予選、準決勝、決勝と、すべて従来の県中学記録を上回る県中学新記録での入賞でありました。ジュニアオリンピックにおける女子リレーの入賞は長野県初の快挙です。

また、多数が自己新記録を更新するとともに、自己2番目3番目といった自己記録に近い記録を出した選手も多く、徐々にではありますが、大きな舞台で力を発揮できる選手が増えてきました。また、各選手とも、成果と同時に課題も見つけることができました。入賞まであと一步の9位も2種目あったり、自己新を出していれば入賞、決勝または準決勝進出などという選手も数多くいたりしました。自分の力を大舞台で出し切れるよう、更に努力を重ねて参ります。

本大会までの合宿及び本大会に快く選手、コーチを派遣して下さいました関係各校の皆様、各校顧問の先生方や長野陸上競技協会の会員の皆様に心より感謝申し上げます。入賞は以下のとおりです。

C男子走幅跳 常田 龍輝 長野北部(1)

5.96 (+0.6) 4 位 自己新記録

ABC女子4×100mR 48秒07 5 位 (県中学新)

予選 1 着 47.75, 準決 1 着 48.03 (ともに県中学新)

1 走 深澤あまね (旭町1) 2 走 樋口虹夏 (波田2)

3 走 小林叶音 (豊科北3) 4 走 唐澤花実 (赤穂2)

第 70 回国民体育大会の結果報告とお礼

監督 中津 敦喜 理事 普及強化委員会委員長  
監督 藤森 要 理事 普及強化委員会強化部長

10月2日(金)から5日間にわたって開催された第70回国民体育大会(2015 紀の国 わかやま国体)に選手29名, 31種目に参加させていただきました。別紙のとおり13種目において入賞をするという活躍をするとともに, 多数が自己新記録を更新し, さらに長野県新記録2種目, および長野県高校新記録1種目, そして女子リレーにおいては33年ぶり, 男女ともに決勝進出は長野県史上初という成果を収め, 無事大会を終えました。

大会期間中はめまぐるしく変化する天候の中, 5日間を全力で競技する選手と, 献身的にサポートいただいた

JATAC長野のトレーナー, 選手の最高のパフォーマンスを導く努力を惜しまなかったコーチが一丸となって「チーム長野」のために戦った姿勢は, 他県の選手団からも多くの賞賛をいただきました。

大会を無事終えることができましたのも, 大会までの合宿及び本大会に快く選手, 役員を派遣くださった関係各校及び各企業の皆様方と, 各校顧問の先生方や長野陸上競技協会の会員の皆様のご支援の賜物であり, 心より感謝申し上げます。

選手団一同, 今回の成績を反省すると共に更なる向上心を持って, 次年度の岩手国体に向けて普及強化策をすすめてまいります。

今後とも一層のお力添えをお願い致しまして, 結果報告とお礼のご挨拶とさせていただきます。

監督: 中津敦喜(篠ノ井高校) 藤森 要(諏訪実業高校) 男子キャプテン: 嶺村鴻汰 女子キャプテン: 宮澤有紀

性	種	No.	種目	選手	所属・学年	予選記録	順位	準決記録	順位	決勝記録	順位	得点	備考
男	成年	1	100m	原 翔太	スズキ浜松AC	10.48(-0.3)	3	10.57(+0.8)	4				
		2	4x100mR	川上 真弥	中央大学								リレーのみ
		3	400m	中野 直哉	早稲田大4	47.62	3						
		4	800m	川元 奨	スズキ浜松AC	1.54.31	1			1.48.58	1	8	成年の部初優勝
			400mH	中野 直哉	早稲田大4	50.96	2			50.63	4	5	2年連続入賞(昨年400m)
		5	1000mW	藤澤 勇	ALSOK					42.26.80	7	2	11年連続入賞
		6	走高跳	芋川 駿	法政大1					2m06	18		
	7	走幅跳	嶺村 鴻汰	筑波大4					8m00(+3.0)	1	8	2年連続入賞	
	少年A	1	100m	松橋 大夢	長野日大3	10.59(+3.1)	3	10.64(+3.1)	7				
		2	400m	樋口 一馬	松商学園2	47.95	2	47.62	3	48.26	6	3	予選、準決勝自己新記録
		3	5000m	關 颯人	佐久長聖3					14.28.99	15		
		4	走幅跳	増子 良平	松商学園2					6m55(+0.4)	26		
		5	やり投	丸山 幹稀	梓川3					57.58	20		
少年B	1	100m	小出 郁弥	市立長野1	11.20(-1.8)	5							
	2	3000m	中谷 雄飛	佐久長聖1					8.28.84	6	3	自己新記録	
	3	110mJH	坂根 遼汰郎	野沢北1	15.02(+0.7)	6							
少年共通	1	800m	石澤 崇紀	長野日大3	1.53.01	3	1.55.67	7				予選自己新記録	
	2	5000mW	石井 克弥	長野日大3					20.47.40	11		自己新記録	
	3	三段跳	増子 良平	松商学園2					14.39	14			
少成共400R				松橋・川上・小出・原	40.92	3	40.16	4	40.34	7	2	3年連続入賞	
女	成年	1	100m	宮澤 有紀	富山大5	12.04(+0.5)	1	11.71(-0.2)	2	11.82(+0.3)	5	4	2年連続入賞
		2	4x100mR	今井 沙緒里	飯田病院								リレーのみ
		3	5000m	玉城 かな	名城大1					16.35.20	14		
		4	1000mW	溝口 友己歩	長野東高3					47.03.23	7	2	自己新記録
		5	走高跳	有賀 楓子	新潟医療福祉大4					1m63	18		
		6	走幅跳	宮坂 楓	横浜国立大AC					5m78(+3.3)	16		
	少年A	1	100m	金田 華実	野沢北3	12.06(+2.5)	2	11.98(+2.3)	5				
		2	走幅跳	西村 千明	伊那北3					5m73(+1.0)	8	1	全国大会初入賞
	少年B	1	100m	菅沼 美風	東海大三1	12.92(+0.7)	7						
		2	1500m	和田 有菜	長野東1	4.25.35	2			4.19.98	2	7	自己新・県・県高校新記録
		3	走幅跳	森本 知隼	松本県ヶ丘1					5m89(+2.4)	3	6	2年連続入賞
	少年共通	1	棒高跳	江原 成美	上田東3					3m30	11		
	少成共400R				金田・宮澤・森本・今井	46.20	4	45.98	4	46.21	8	1	予選、準決勝長野県新記録
得点(素点) 52点		(成男23、少男6、成少男共2、成女6、少女14、成少女共1)				男女合計得点(素点)				52点			
入賞数13種目		(成年29、少年20、成少共3)				天皇杯得点(男女合計+参加点10)				62点 15位/47			
		(男子7、女子6)				皇后杯得点(女子合計+参加点10)				31点 12位/47			

## 長野陸上競技協会 平成 26 年度栄章授与式

総務委員長 黒岩 敏明



平成 26 年度長野陸上競技協会栄章授与は、昨年度に引き続き第 99 回日本選手権大会(混成競技)開催に併せて 7 月 4 日(土)・5 日(日)に長野市営陸上競技場で、審判員功労章(5 名)、指導者功績章(7 名)、勲功章(26 名)、優秀選手章(48 名)、奨励賞(12 名)にそれぞれ賞状・記念品を贈呈させていただきました。受章された皆様おめでとうございます。(敬称省略)

## 【審判員功労章】

田中米人(諏訪) 寺島大士(長野市) 早川 幸(長野市) 市川広徳(上田) 山本 隆(上田)

## 【指導者功績章】

宮澤真一(安曇野) 小林幸太郎(大北) 黒岩敏明(長野市) 縣 正樹(長野市) 熊谷 憲(長野市) 跡部定一(佐久) 後小路正人(佐久)

## 【勲功章】

戸谷真理子 宮坂 楓 浅川優人 大野雄揮 原 翔太 樋口一馬 井上 錬 長沼大智 茂山蓮太 澤 弘平 (以上が優秀選手章も併せて受章) 相馬崇史 森本知隼 木下博貴 中谷雄飛 小出郁弥 湯本珠実 木村 凌 齊藤静花 臼井美紅 中嶋 謙 眞田稜生 高木航志 小林成美 和田真菜 宮澤美裕 滝沢菜絵(以上が奨励賞も併せて受章)

## 【優秀選手章】

川元 奨 太田和彰 嶺村鴻汰 石川和義 宮澤有紀 岩田 晃 玉城かな 池田 仁 溝口友己歩 小野美紗 中村智美 塩崎 葵 久保田里菜 中島未歩 村松卓哉 成澤 稜 斉藤 巧 三宅浩生 富田勇大 小柳堅一 出村友裕 小北大志 中井遥菜 松下優太 塚原直貴 菅沼美風 モラード華 川上綾香 弓田 玲 小林希良莉 高木実穂 細田真央 高森建吾 上野裕一郎 藤木悠太 春日千速 矢野圭吾 塩島亮太 大和千秋 吉田英里子 田中美沙 山本 端 中野直哉 三澤涼子 藤澤 勇 關 颯人 名取療太 宮島幸太郎

## 【奨励章】

坂根遼汰郎 和田有菜 小林 奏 下村勇喜 細野拓歩 太田裕真 折橋翔太 御子柴優花 安田三奈美 高安結衣 中村朱里 吉田みさき

## 第 64 回 長野県縦断駅伝について

競技運営委員会競技部長 横打 史雄

昨年度の長野県縦断駅伝競走大会は、上伊那チームが 9 年ぶり 34 回目の優勝を総合記録 11 時間 46 分 31 秒の大会新記録という結果で幕を閉じました。

昨年、選手の走行について「選手は左側車線の左端 1 m 以内を走行すること」という新たなルールを設けました。選手の安全確保、交通渋滞の緩和等を理由に設定したものです。コースのほとんどで規制が行われていないこの駅伝が、地域住民の皆様からのご理解とご協力を支えに、末永く未来へと継承していくことが重要だという考えから決断したものです。各チーム関係者、選手の皆様におかれましては、ぜひとも趣旨を理解され、今年もルールの厳守徹底をお願いいたします。

さて、今年の大会からエントリーに関して、大きな変更が 2 点あります。まず、チームオーダーに関しましては、これまで約 1 ヶ月前の参加申込時にオーダー提出を求め、選手変更、区間変更について一定の制限内での変更という方式をとってきました。しかし、1 ヶ月前の区間決定は各チームにとってたいへんな負担であったことなどから、オーダー提出を大会前日としました。

もう一つは、大会参加料を増額いたしました。大会運営費について信濃毎日新聞社様のご負担を少しでも軽減したいこと、受益者負担が原則であることなどを踏まえ、7 月 23 日(木)アルウィンで行われたチーム代表者会議におきまして、各チームに了承をいただきました。いずれにしても、各チームのご理解とご協力をぜひともお願いいたします。

ここ 10 年間で、毎年優勝チームが変わる群雄割拠の時代となり、レース展開もたいへんスリリングなものになっています。今年は何のチームが制するのでしょうか。

## 参加料についての補足

これまでの参加料(審査料)は 1 チーム 3000 円であり値上げについては陸協の長年の課題でした。

できることからスピーディに改善することを今年度陸協事務局のテーマにもしていますので、この課題についても早速、他大会同様の中・高校生は一人 1000 円、一般は一人 2000 円の参加料をベースとし、チームの総額は 42,000 円～47,000 円程度の負担という案を、7 月末に開催したチーム代表者会議に提案しました。これに対して、席上、計算が面倒なため一律にして欲しい旨の要望が出され、全チームの合意の上 1 チーム 50,000 円に決定しました。この件は 8 月 6 日に開催された第 17 回理事会でも報告し、各地区会長、理事長からそれぞれの地区陸協へ伝達して頂いております。

県縦断駅伝は県陸協主催事業として歴史も古く、道路競技のため 2 日間で莫大な労力と経費のみならず、県教育委員会、警察(約 500 名)、安全協会(約 1000 名)、ボランティアの皆様方をはじめ地域住民のご理解とご協力を得られなければ継続できない事業です。特に信濃毎日新聞社様には全面的なご協力を頂いております。

今後とも「駅伝長野」を象徴する事業として継続できますようご協力をお願い致します。(理事長)

## Topics-2 小坂会長祝賀会

小坂憲次参議院決算委員長就任を  
祝う会に出席して

副会長 伊藤 利博



小坂憲次長野陸上競技協会会長の参議院議員決算委員長就任を祝う会が、8月23日に後援会を始めとして、地元の政界、財界の方々約700余名の出席の下に盛大に開催されました。国会では、衆議院の予算委員長、参議院では決算委員長と言われる程、重責を担うポストです。長年の政界での実績が認められ、めでたく就任されました事は我々にとりまして誠に喜ばしいことでもあり、又長野陸協会長として大変誇りに思います。心よりお祝い申し上げます。

当日、ご来賓の方々からのご祝辞にもありましたが、小坂家125年への歴史を一身に受け継ぎ、日本の国のために日夜取り込まれている姿勢は、同じ政界に身を置く議員のお手本になられていると言うお話もありました。この役職を大きなステップとして、更なるご活躍を心よりお祈り申し上げます。

小坂会長には長野陸協会長をお願いして4期目となりますが、この間地元長野市宮陸上競技場の施設設備における改善に積極的に取り組んでいただき、大事な時には長野市長とお話いただき、日本選手権(混成競技大会)開催に踏み切ることが出来ました。また、これらの改善が昨年右代選手の日本記録誕生につながったと思っております。

当日は、5年に一度開催される東海選手権と重なってしまい、陸連関係者は代表のみの出席で、折角の祝賀会に大勢出席できず申し訳なく思っております。

大変お忙しい中、これからも国会議員として、長野陸協会長として益々のご活躍をご祈念申し上げ、報告とさせていただきます。

ある大会の100m Reaction Time(秒)(スタート反応時間)。(全般的に遅い反応時間だが、不正スタート後は更に遅くなるのがわかる)

Lane	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1st	0.064	0.197	0.170	0.182	0.160	0.170	0.170	0.149	0.174
2nd	0.178	0.186	0.215	0.192	0.168	0.178	0.191	0.166	0.180
差	0.114	-0.011	0.045	0.010	0.008	0.008	0.021	0.017	0.006

## 地区陸協訪問 1st

「南信地区陸協の動き」

長野陸協理事 副会長 南信地区陸協会長 北原 誠治



南信地区陸協の事業の一つは7月20日(海の日)に行われた第24回南信陸上競技選手権大会兼第43回南信三郡対抗陸上競技大会です。共催は長野日報社で、毎年多大なご支援をいただいています。

この大会は昭和47年より開催されており、諏訪・上伊那・下伊那三郡の中学生、高校生、大学生、一般選手と一緒に競技を行い南信No.(ナンバー)1(ワ)を競います。優勝者には選手権証とメダルが授与されます。参加選手は年々増加傾向にあり、今年は901人延べ1,024人の参加申込がありました。朝8時30分に競技を開始し午後4時50分に終了でした。競技は三郡対抗となっており、1位6点…以下6位1点と採点を行い、総合得点により優勝チームに優勝旗、男子・女子優勝チームに優勝カップを授与しています。最終種目の男女三郡対抗4×400mRでは最高に盛り上がり、各チームを、トラックを囲んで応援し健闘を讃え競技会を終了します。

南信地区陸協では、このような大会は今後も長く続けていきたいと考えています。

## 昨今の不正スタート事情

かつては短距離の「作戦」ともされた「フライングスタート(flying start) = 和製英語でflying単独でflying startを指すことはない。規則上はFalse Start = 不正スタート」である。自分のタイミングでスタートできるか、反応時間を如何に短縮するか、これらはスプリンターにとって今も変わらない命題であるが、現在国際大会や日本陸連主催大会では不正スタート1回で即失格となってしまう。従って、判定は反応時間を機械的に計測する電子装置を参考にする面もある。今年度から「不正スタート制御装置」という名称に変更され(これまでは「判定装置」)、フライングはあくまでスタータ(リコー)の判断(目視)が基準となることが再確認された。

装置は2社の製品がある。A社製は世界選手権でも使用されておりスターティングブロックに貼り付けられた歪みゲージが、その変形を感知し作動する。一方のB社製は輸入品で、ブロックに取り付けられた加速度センサの情報により判定している。いずれも反応時間がヒトの医科学的根拠である0.100秒未満の場合に、A社製は自動的にリコールピストルが発射され、B社製はインカムでその情報が伝達される。8月松本開催の東海選手権男子100m決勝では、この装置の情報でリコーラーがピストルを鳴らしたが、選手は20-30mもダッシュしていた。これが2回も繰り返されたため選手へのダメージは大きかった。今年からB社は自社ブランドでA社製を販売している。長野はH25年にA社製を1組、松本はH26年にB社製を3組も購入していただいた。(内山了治)

# 主要競技会結果記録一覧

## 平成 27 年 4 月～9 月



理事 情報システム委員会  
記録部長 瀧沢 佳生

4 月からの長野陸協主要大会結果  
を取りまとめました。詳細はホーム  
ページをご覧ください。

(KR: 県新記録 GR: 大会新記録)

### 第55回長野県陸上競技春季大会

期日: 平成27年4月25-26日

場所: 県松本平広域公園陸上競技場

#### 【男子】

▶100m (+3.4)			
①岩田 晃	(ライフメッセージ AC)	10.62	
②高木 佑希	(ライフメッセージ AC)	10.76	
③長谷川 寛	(東学大2)	10.78	
▶200m (+0.4)			
①岩田 晃	(ライフメッセージ AC)	21.92	
②都築 和正	(信州大3)	21.98	
③松下 優太	(松川高3)	22.10	
▶400m			
①浦野 泰希	(松本大3)	48.10	
②細川 日向	(信州大3)	48.73	
③米嶋 航一	(信州大4)	49.46	
▶800m			
①石澤 崇紀	(長野日大高3)	1:56.73	
②村瀬 雅人	(東農大3)	1:58.10	
③古谷 樹仁	(東農大2)	2:00.00	
▶1500m			
①石澤 崇紀	(長野日大高3)	4:01.55	
②門脇 航	(長野吉田高3)	4:02.64	
③中谷 雄飛	(佐久長聖高1)	4:02.70	
▶5000m			
①松木 之衣	(長野日大高3)	15:01.91	
②牛山 純一	(相支走愛)	15:04.38	
③上原 雄大	(上伊那農高2)	15:14.12	
▶10000m			
①築館 陽介	(佐久長聖高3)	32:20.37	
②宮田 共也	(長野日大高2)	32:45.02	
③木田 元春	(長野日大高2)	32:49.78	
▶110mH(1.067m) (+0.3)			
①岡田 英希	(国武大2)	15.03	
②五十嵐 大樹	(野沢北クラブ)	15.38	
③坪井 智哉	(須坂高3)	15.54	
▶400mH(0.914m)			
①清水 泰志	(松本大3)	54.70	
②川西 翔太	(松本大4)	55.24	
③内堀 連	(佐久平総合高3)	57.33	
▶3000mSC(0.914m)			
①宮入 一海	(北佐久郡陸協)	9:22.31	
②吉川 昇吾	(信州大2)	9:30.76	
③泉 継道	(信州大4)	9:37.05	
▶5000mW			
①青木 学	(長野市陸協)	20:26.12	(GR)
②寺島 智春	(長野高3)	22:10.03	
③石井 克弥	(長野日大高3)	22:35.61	

▶走高跳			
①丸山 貴倫	(諏訪東理大3)	1.95	
②倉石 大樹	(長野日大高3)	1.95	
③尾畑 元佳	(東海大2)	1.95	
▶棒高跳			
①小山 範晃	(中京大4)	5.10	(GR)
②松澤 勝治	(上伊那郡陸協)	4.70	
③内山 朋也	(長野吉田高2)	4.40	
▶走幅跳			
①深沢 宏之	(日本大4)	7.75(+1.8)	(GR)
②中野 涼介	(筑波大1)	6.99(+2.0)	
③上條 智之	(明治大4)	6.78(+2.1)	
▶三段跳			
①石川 和義	(長野吉田AC)	16.05(+0.9)	(GR)
②佐藤 賢一	(ライフメッセージ AC)	15.40(+3.9)	
③深沢 宏之	(日本大4)	15.33(+1.9)	
▶砲丸投(7.260kg)			
①米倉 朋輝	(長野工高3)	12.11	
②上原 隆伸	(カーシンス 長野)	11.57	
③神田 郁実	(長野商高3)	11.18	
▶円盤投(2.000kg)			
①大庭 達也	(順天堂大3)	40.53	
②岩崎 まお	(長野東高3)	34.49	
③米倉 朋輝	(長野工高3)	34.39	
▶ハンマー投(7.260kg)			
①平田 勝也	(国武大3)	50.10	
②濱 直輝	(梓川高3)	43.17	
③神田 郁実	(長野商高3)	42.85	
▶やり投(0.800kg)			
①丸山 幹稀	(梓川高3)	60.24	
②小川 健太	(東経大1)	59.68	
③岩崎 まお	(長野東高3)	56.63	
▶4×100m			
①ライフメッセージ AC		42.28	
(高木・佐藤・岩田・宮澤)			
②佐久長聖高		43.27	
(坂田・花里・松崎・荻原)			
③信州大		43.49	
(黒野・都築・小北・藤森)			
▶4×400m			
①信州大		3:19.34	
(川北・都築・東・米嶋)			
②松本大		3:21.22	
(川西・浦野・丸山・清水)			
③佐久長聖高		3:23.93	
(松崎・相場・花里・荻原)			
【女子】			
▶100m (+1.1)			
①今井 沙緒里	(飯田病院)	12.26	
②金田 華実	(野沢北高3)	12.32	
③瀧澤 祐未	(松本大4)	12.46	
▶200m (-0.1)			
①今井 沙緒里	(飯田病院)	24.81	(GR)
②瀧澤 祐未	(松本大4)	25.22	
③佐藤 静香	(新潟医福大3)	25.23	
▶400m			
①佐藤 静香	(新潟医福大3)	57.06	
②長村 紋	(松本大3)	59.05	
③関島 友里佳	(飯田風越高3)	59.40	
▶800m			
①小合 沙季	(新潟医福大1)	2:21.45	
②村上 愛華	(長野東高2)	2:21.64	
③那須野 綺音	(大町高2)	2:22.09	

▶1500m

①和田 有菜 (長野東高1) 4:39.16

②久保田 里菜 (長野東高3) 4:39.47

③前島 玲美 (長野高3) 4:40.88

▶3000m

①前島 玲美 (長野高3) 10:09.03

②高根 楓 (浅科中3) 10:09.65

③竹内 優花 (東海大三高2) 10:15.00

▶5000m

①岩波 香奈 (東女体大2) 18:29.46

②小林 希良莉 (長野東高3) 18:31.06

③金曾 愛美 (信州大3) 19:55.01

▶100mH(0.838m) (+1.3)

①大日方 紗愛 (中京大3) 14.89

②中澤 久美 (松本大3) 15.22

③細田 真央 (上田染谷丘高3) 15.25

▶400mH(0.762m)

①細田 真央 (上田染谷丘高3) 1:05.07

②高橋 美由紀 (東海大北海道4) 1:05.15

③岸田 藍 (上田染谷丘高3) 1:07.01

▶5000mW

①溝口 友己歩 (長野東高3) 24:48.60

②村松 莉緒 (長野高3) 27:49.09

③矢島 風香 (長野東高2) 28:35.04

▶走高跳

①戸谷 真理子 (長野吉田AC) 1.72 (GR)

②岩崎 ちひろ (長野吉田高3) 1.66

③小野 美紗 (日女体大1) 1.63

▶棒高跳

①江原 成美 (上田東高3) 3.30

②原 裕美佳 (清和大1) 2.90

③宇原 萌々香 (田川高3) 2.80

③加賀見 麻里 (下諏訪向陽高2) 2.80

▶走幅跳

①市岡 奈月 (東学大2) 5.76(+2.6)

②青木 亜里沙 (新潟医福大3) 5.73(+2.1)

③西村 千明 (伊那北高3) 5.63(+1.2)

▶三段跳

①三澤 涼子 (ライフメッセージAC) 12.33(+0.6)

②栗空 亜沙美 (木曾青峰高) 11.05(+1.6)

③西澤 香 (ターカンス長野) 10.57(+2.0)

▶砲丸投(4.000kg)

①佐藤 芹香 (佐久長聖高3) 11.53

②永井 琴美 (上田東高3) 10.86

③細井 友香 (伊那西高2) 10.25

▶円盤投(1.000kg)

①竹入 愛彩美 (上伊那農高3) 36.76

②新津 まり菜 (信州大1) 33.06

③柄澤 真野 (信州大2) 32.36

▶ハンマー投(4.000kg)

①黒岩 美怜 (筑波大2) 44.33

②佐藤 芹香 (佐久長聖高3) 35.33

③平松 美音 (文化学園長野高3) 33.67

▶やり投(0.600kg)

①塩島 絵未 (北安曇郡陸協) 50.18 (GR)

②井口 華穂 (新潟医福大2) 49.15

③濱 麗 (東女体大2) 41.10

▶4×100m

①松本大 (長村・瀧澤・村松・中澤) 49.83

②野沢北高 (関・金田・土屋・酒井) 50.40

③伊那弥生ヶ丘高 50.66 (久保村・橋爪・樋口・中山)

▶4×400m

①松本大 4:00.09 (長村・中澤・村松・瀧澤)

②飯田風越高 4:06.64 (吉川・菅沼・稲垣・関島)

③伊那弥生ヶ丘高 4:07.82 (橋爪・久保村・樋口・中山)

**第25回長野県市町村対抗駅伝競走大会**  
 期日:平成27年4月29日  
 場所:長野県松本平広域公園陸上競技場発着  
 9区間 42.195km

▶総合 ▶町の部

①長野市 2:14:02 ①富士見町 2:21:23

②上田市 2:16:16 ②箕輪町 2:23:03

③飯田市 2:17:51 ③高森町 2:23:25

④茅野市 2:18:50 ▶村の部

⑤松本市 2:19:29 ①木島平村 2:23:55

⑥駒ヶ根市 2:21:03 ②松川村 2:30:09

⑦安曇野市 2:21:20 ③栄村 2:34:39

⑧富士見町 2:21:23

**第11回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会**  
 期日:平成27年4月29日  
 場所:長野県松本平広域公園陸上競技場発着  
 4区間 6.0km

▶総合 ▶町の部

①長野市 21:16 ①松川町 22:26

②上田市 21:17 ②軽井沢町 22:27

③安曇野市 21:18 ③山ノ内町 22:41

④松本市 21:19 ▶村の部

⑤諏訪市 21:38 ①木島平村 22:20

⑥飯田市 21:52 ②南箕輪村 22:28

⑦小諸市 21:57 ③喬木村 22:29

⑧千曲市 22:07

**第43回長野県実業団陸上競技選手権大会**  
 期日:平成27年6月14日  
 場所:佐久総合運動公園陸上競技場  
 【男子】

▶100m (-1.6)

①吉川 涼平 (DreamAC) 11.73

②笠井 健太 (DreamAC) 11.81

③丸岡 精二 (駒ヶ根AC) 11.95

▶200m (-0.6)

①吉富 和弥 (ライフメッセージAC) 22.46

②吉川 涼平 (DreamAC) 22.89

③丸岡 精二 (駒ヶ根AC) 23.30

▶400m

①下里 直弥 (ターカンス長野) 50.88

②本多 俊平 (ターカンス長野) 53.25

③宮尾 淳矢 (箕輪町陸協) 56.46

▶1500m

①白川 友一 (須坂陸協) 4:01.98

②宮入 一海 (北佐久郡陸協) 4:04.01

③小林 正典 (アート梱包運輸) 4:08.61

▶5000m

①桃澤 大祐 (上伊那郡陸協) 15:02.10

②宮入 一海 (北佐久郡陸協) 15:06.92

③白川 友一 (須坂陸協) 15:14.38

▶110mH(1.067m) (-3.0)  
 ①伊達 仁哉 (ターニガンス長野) 17.65  
 ▶走高跳  
 ①林 知彦 (大北陸協) 1.95  
 ②本多 俊平 (ターニガンス長野) 1.70  
 ▶走幅跳  
 ①本多 俊平 (ターニガンス長野) 6.16(+2.9)  
 ②富井 慶太 (松本市陸協) 5.50(+2.9)  
 ▶三段跳  
 ①佐藤 賢一 (ライフメッセージAC) 15.26(+1.5)  
 ②富井 慶太 (松本市陸協) 11.24(+1.5)  
 ▶砲丸投(7.260kg)  
 ①上原 隆伸 (ターニガンス長野) 11.31  
 ②大宮 直人 (たくみや) 7.77  
 ▶円盤投(2.000kg)  
 ①中嶋 友也 (ターニガンス長野) 26.06  
 ②土屋 春生 (御代田町役場) 25.54  
 ③上條 健 (ターニガンス長野) 20.43  
 ▶ハンマー投(7.260kg)  
 ①上原 隆伸 (ターニガンス長野) 44.56  
 ②福島 健一 (ターニガンス長野) 23.62  
 ③上條 健 (ターニガンス長野) 22.43  
 ▶やり投(0.800kg)  
 ①友田 利男 (阿南高教) 52.65  
 ②森 憲之 (軽井沢町役場) 42.06  
 ③勝野 裕太 (DreamAC) 40.14  
 ▶4×100m  
 ①ターニガンス長野(A) 45.45  
 (下里・柳沢・本多・島津)  
 ②DreamAC 47.66  
 (山本・笠井・浅野・吉川)  
 ③ターニガンス長野(B) 51.89  
 (上條・中嶋・福島・伊達)  
 【男子30-39歳】  
 ▶100m (-4.7)  
 ①日馬 正貴 (安曇野陸協) 13.20  
 ▶1500m  
 ①宮尾 淳矢 (箕輪町陸協) 4:35.26  
 ▶砲丸投(5.000kg)  
 ①友田 利男 (阿南高教) 12.61  
 ②土屋 春生 (御代田町役場) 10.21  
 【男子30-39歳】  
 ▶100m (-4.7)  
 ①中嶋 憲一 (駒ヶ根市役所) 12.49  
 ▶2000m  
 ①利根川 裕雄 (アルプスツール) 6:03.93  
 ▶砲丸投(5.000kg)  
 ①上條 健 (ターニガンス長野) 9.64  
 【女子】  
 ▶100m (-2.5)  
 ①今井 沙緒里 (飯田病院) 12.22  
 ▶200m (-2.5)  
 ①竹内 優香 (DreamAC) 28.27  
 ▶800m  
 ①塩野 佳代子 (須坂陸協) 2:38.44  
 ▶3000m  
 ①松山 なつみ (NDF) 11:36.28  
 ▶5000mW  
 ①大和 千秋 (飯田病院) 25:05.92  
 ▶走高跳  
 ①戸谷 真理子 (緑ヶ丘中教) 1.70  
 ▶走幅跳  
 ①桐山 明日香 (EASTERS) 5.66(+2.5)

▶三段跳  
 ①三澤 涼子 (ライフメッセージAC) 12.21(+1.0)  
 ②西澤 香 (ターニガンス長野) 10.51(+1.5)

**第32回長野県小学生陸上競技大会**  
 期日:平成27年6月21日  
 場所:県松本平広域公園陸上競技場  
 【男子】

▶5年100m (+1.0)  
 ①柳沢 隼士 (中込小) 13.93  
 ②伊藤 陽斗 (中洲小) 14.15  
 ③宍戸 智也 (明南小) 14.66  
 ▶6年100m (+0.4)  
 ①市谷 颯梧 (信大附属松本小) 12.87  
 ②宮崎 日向 (更埴陸上教室) 13.06  
 ③肥後 琉之介 (伊賀良小) 13.11  
 ▶共通1000m  
 ①丸山 翔平 (川中島JRC6) 3:02.05  
 ②吉岡 伶 (高島小6) 3:09.95  
 ③木内 万璃 (穂高西AC6) 3:10.63  
 ▶共通80mH(0.700m) (+1.2)  
 ①北川 広樹 (軽井沢A&AC6) 12.83 (GR)  
 ②並木 陸 (軽井沢A&AC6) 13.49  
 ③漆原 奏哉 (水明AC6) 13.61  
 ▶共通走高跳  
 ①田畑 翔汰朗 (富県小6) 1.30  
 ②棚谷 元 (高森南小6) 1.30  
 ③土屋 拓哉 (下條小6) 1.25  
 ▶共通走幅跳  
 ①伊藤 司騎 (望月AC6) 5.13(0.0)  
 ②中村 洋平 (望月AC6) 4.42(-0.3)  
 ③宮坂 仁士 (茅野アスレックス6) 4.40(+0.2)  
 ▶共通ソフトボール投(1号球)  
 ①村上 隼弥 (塩尻西小6) 57.79  
 ②鈴木 峻太 (中佐都小6) 56.82  
 ③船坂 柊斗 (上の原小6) 56.72  
 ▶4×100m  
 ①穂高西AC 53.24  
 (勝野剛・勝野武・野口・柳沢)  
 ②三郷AC 56.10  
 (小谷・滝澤・菅・中山)  
 ③屋代小 56.40  
 (吉川・石川・山田・宮川)  
 【女子】  
 ▶5年100m (-0.6)  
 ①宮原 凜成 (坂城JAC) 14.22  
 ②山城 春菜 (松川陸上クラブ) 14.25  
 ③藤森 七海 (湖南小) 14.84  
 ▶6年100m (+0.4)  
 ①内藤 理木 (長野市陸上教室) 13.86  
 ②窪田 結衣 (芳川小) 13.89  
 ③石坂 琴葉 (日滝小) 14.26  
 ▶共通1000m  
 ①宮澤 実亜 (川中島JRC6) 3:10.61  
 ②根津 円 (松本本郷小6) 3:12.79  
 ③竹岡 紗代 (堀金小6) 3:16.43  
 ▶共通80mH(0.700m) (-0.7)  
 ①市村 彩美 (軽井沢A&AC6) 13.64  
 ②原 知愛 (松川小6) 13.71  
 ③清水 叶華 (今井小6) 14.48  
 ▶共通走高跳  
 ①佐野 紗葵 (堀金小6) 1.25  
 ②平谷 紗菜 (朝日RISE5) 1.20

③太田 さくら (会染小5)	1. 20
③荒井 優菜 (会染小5)	1. 20
③武田 成未 (屋代小6)	1. 20
▶共通走幅跳	
①北原 小遥 (東春近小6)	4. 28(+1. 9)
②土屋 ほのか(軽井沢A&AC6)	4. 27(+0. 2)
③柿澤 摩歩 (高島小6)	4. 13(0. 0)
▶共通ソフトボール投(1号球)	
①池上 桃花 (手良小6)	52. 19
②岩永 響 (宮田小6)	44. 58
③橋本 成美 (広丘小5)	43. 75
▶4×100m	
①豊科北小 (沼野・神谷・片桐・臼井)	55. 51
②穂高西AC (中嶋・矢口・望月・寺島)	56. 38
③赤穂南小 (氣賀澤・田中・小野・中嶋)	57. 44
【男女】	
▶4×100m	
①筑摩小 (三澤・樽澤・杉原・安坂)	58. 11
②コミット波田 (中村・北原・安藤・唐沢)	58. 13
③佐久A&AC (長谷川・大森・篠原・古村)	58. 66

平成27年度国民体育大会陸上競技大会長野県予選会

期日:平成27年7月18-19日

場所:長野市宮陸上競技場

【成年男子】

▶100m (+1. 2)	
①川上 真弥 (中央大4)	10. 52
②岩田 晃 (ライフメッセージAC)	10. 65
③内堀 直也 (群馬・上武大4)	10. 70
▶400m	
①中野 直哉 (早稲田大3)	47. 80
②池田 仁 (東洋大1)	48. 14
③小林 英和 (法政大2)	48. 73
▶800m	
①村瀬 雅人 (東農大3)	1:54. 87
②古谷 樹仁 (東農大2)	1:55. 08
③大島 直哉 (信州大2)	1:59. 22
▶5000m	
①松野 淳司 (塩尻陸協)	15:16. 87
②河合 崇成 (信州大2)	15:22. 76
③村澤 智啓 (長野市陸協)	15:34. 67
▶110mH(1. 067m) (-0. 1)	
①岡田 英希 (国武大2)	15. 46
②五十嵐 大樹 (野沢北クラブ)	15. 47
③小林 涼 (信大医3)	16. 29
▶400mH(0. 914m)	
①中野 直哉 (早稲田大3)	51. 02
②小林 英和 (法政大2)	51. 89
③川西 翔太 (松本大4)	54. 42
▶5000mW	
①青木 学 (長野市陸協)	20:14. 69
②塩島 亮太 (明治大3)	21:16. 94
③高橋 涼太 (順天堂大2)	21:22. 83
▶走高跳	
①芋川 駿 (法政大1)	2. 05
②林 知彦 (大北陸協)	2. 02
③丸山 貴倫 (諏訪東理大3)	2. 02

▶棒高跳	
①松澤 勝治 (上伊那郡陸協)	5. 00
②関 知大 (松本大1)	3. 80
▶走幅跳	
①嶺村 鴻汰 (東京・モンテローザ)	7. 88(+2. 0)
②佐藤 賢一 (ライフメッセージAC)	7. 51(+1. 3)
③宮崎 琢也 (中京大2)	7. 01(-0. 3)
▶砲丸投(7. 260kg)	
①上原 隆伸 (ターミガンス長野)	11. 66
②上條 健 (ターミガンス長野)	7. 33
▶やり投(0. 800kg)	
①永井 一平 (東海大4)	62. 39
②村松 卓哉 (東学大4)	58. 74
③矢ヶ崎 奨 (国武大2)	54. 06
【少年男子A】	
▶100m (+2. 0)	
①松橋 大夢 (長野日大高3)	10. 68
②松下 優太 (松川高3)	10. 69
③曾根原 豪士 (長野日大高3)	10. 71
▶400m	
①樋口 一馬 (松商学園高2)	48. 12
②荻原 京介 (佐久長聖高3)	48. 53
③花里 翼 (佐久長聖高2)	50. 06
▶5000m	
①井上 錬 (佐久長聖高3)	15:02. 30
②松木 之衣 (長野日大高3)	15:05. 85
③木田 元春 (長野日大高2)	15:17. 58
▶400mH(0. 914m)	
①内堀 連 (佐久平総合高3)	55. 16
②荒井 雅也 (長野工高3)	55. 33
③吉沢 智貴 (長野日大高2)	56. 42
▶棒高跳	
①内山 朋也 (長野吉田高2)	4. 40
②木村 浩樹 (下諏訪向陽高3)	4. 40
▶走幅跳	
①清水 泰地 (丸子修学館高3)	6. 96(+1. 7)
②棚谷 和久 (飯田高2)	6. 81(+0. 3)
③横地 彦人 (須坂東高2)	6. 70(+0. 8)
▶ハンマー投(6. 000kg)	
①神田 郁実 (長野商高3)	52. 41
②濱 直輝 (梓川高3)	48. 76
③小林 生歩稀 (梓川高3)	46. 67
▶やり投(0. 800kg)	
①丸山 幹稀 (梓川高3)	60. 46
②岩崎 まお (長野東高3)	56. 14
③宮島 真吾 (阿南高3)	55. 76
【少年男子B】	
▶100m (+2. 3)	
①小出 郁弥 (市立長野高1)	10. 95
②中嶋 謙 (清水中3)	11. 00
③柳沢 直生 (塩尻西部中3)	11. 15
▶3000m	
①中谷 雄飛 (佐久長聖高1)	8:36. 54
②本間 敬大 (佐久長聖高1)	8:43. 98
③松崎 咲人 (塩尻広陵中3)	8:44. 32
▶110mH(0. 991m) (+0. 2)	
①坂根 遼太郎 (野沢北高1)	15. 27
②中澤 晴起 (小諸高1)	15. 67
③小林 周平 (長野東高1)	15. 83
▶走幅跳	
①神田 来夢 (望月AC3)	6. 56(+1. 0)
②須崎 修二 (上田高1)	6. 54(+2. 1)
③穂苅 康人 (三郷中3)	6. 49(+2. 4)



▶200m (+0.9)			③藤原 一斗 (穂高商高2)	35.41
①樋口 一馬 (松商学園高2)	21.40		▶ハンマー投 (7.260kg)	
②岩田 晃 (ライフメッセージAC)	21.64		①平田 勝也 (国武大3)	49.89
③内堀 直也 (群馬・上武大4)	21.95		②神田 郁実 (長野商高3)	42.07
▶400m			③上原 隆伸 (ターミカッズ長野)	41.93
①浅川 優人 (明治大1)	49.87		▶やり投 (0.800kg)	
②水島 優 (松本大1)	50.62		①永井 一平 (東海大4)	59.54
③小林 航 (松本大1)	50.80		②長崎 大悟 (丸子修学館高3)	57.16
▶800m			③小川 健太 (東経大1)	55.97
①石澤 崇紀 (長野日大高3)	1:54.91		▶4×100m	
②手塚 将弥 (日体大1)	1:55.40		①ライフメッセージAC	40.67(KR・GR)
③中島 大智 (信州大1)	1:58.25		(高木・岩田・吉富・佐藤)	
▶1500m			②松商学園高	41.60
①大野 雄揮 (長野市陸協)	4:01.68		(成澤・斉藤・樋口・三宅)	
②北原 崇志 (EASTERS)	4:02.19		③松本大	41.70
③石澤 崇紀 (長野日大高3)	4:02.75		(塩野入・浦野・小野澤・常盤)	
▶5000m			▶4×400m	
①牛山 純一 (相支走愛)	14:51.87		①松本大	3:19.23
②桃沢 大祐 (上伊那郡陸協)	14:52.67		(小林・浦野・清水・川西)	
③仁科 利弥 (飯田市陸協)	14:54.97		②ターミカッズ長野	3:24.69
▶10000m			(島津・伊藤・下里・内山)	
①桃沢 大祐 (上伊那郡陸協)	31:04.77		③長野日大高	3:25.31
②牛山 純一 (相支走愛)	31:07.73		(北澤・長谷川・小林・吉沢)	
③小山 祐太 (コトヒラ工業)	31:08.93		【女子】	
▶110mH (1.067m) (+0.7)			▶100m (-0.4)	
①五十嵐 大樹 (野沢北クラブ)	15.11		①瀧澤 祐未 (松本大4)	12.28
②三宅 浩生 (松商学園高2)	15.56		②金田 華実 (野沢北高3)	12.33
③小林 涼 (信大医3)	16.03		③田村 有利奈 (上田東高2)	12.63
▶400mH (0.914m)			▶200m (+1.6)	
①清水 泰志 (松本大3)	53.86		①瀧澤 祐未 (松本大4)	24.83 (GR)
②川西 翔太 (松本大4)	54.04		②金田 華実 (野沢北高3)	25.23
③小林 航 (松本大1)	54.26		③小林 叶音 (豊科北中3)	25.59
▶3000mSC (0.914m)			▶400m	
①大野 雄揮 (長野市陸協)	9:12.04		①長村 紋 (松本大3)	58.22
②北原 崇志 (EASTERS)	9:38.84		②村松 広捺 (松本大2)	59.84
③泉 継道 (信州大4)	9:39.16		③酒井 菜月 (野沢北高2)	1:00.04
▶5000mW			▶800m	
①青木 学 (長野市陸協)	20:42.21		①和田 有菜 (長野東高1)	2:16.31
②石井 克弥 (長野日大高3)	21:47.71		②那須野 綺音 (大町高2)	2:17.84
③竹内 佑介 (長野日大高3)	22:49.83		③毛涯 莉歩 (長野吉田高2)	2:18.12
▶走高跳			▶1500m	
①林 知彦 (大北陸協)	2.07		①和田 有菜 (長野東高1)	4:31.73 (GR)
②尾畑 元佳 (東海大2)	1.98		②清水 彩音 (長野東高2)	4:35.05
③大塚 樹也 (文化学園長野高3)	1.95		③久保田 里菜 (長野東高3)	4:38.77
▶棒高跳			▶5000m	
①小山 範晃 (中京大4)	5.00		①新原 徳子 (長野東高3)	18:13.33
②内山 朋也 (長野吉田高2)	4.40		②小林 希良莉 (長野東高3)	18:39.75
③前田 貴滉 (伊那北高2)	4.20		③滝澤 菜絵 (長野東高1)	18:46.55
▶走幅跳			▶100mH (0.838m) (+0.4)	
①佐藤 賢一 (ライフメッセージAC)	7.36(+0.4)		①中澤 久美 (松本大3)	15.06
②清水 泰地 (丸子修学館高3)	7.03(+0.3)		②前田 花奈 (伊那弥生ヶ丘高2)	15.33
③窪田 章吾 (東学大1)	7.00(+0.4)		③高橋 うらら (上田西高1)	15.61
▶三段跳			▶400mH (0.762m)	
①石川 和義 (長野吉田AC)	15.65(+1.3)		①酒井 菜月 (野沢北高2)	1:05.04
②佐藤 賢一 (ライフメッセージAC)	15.55(+1.1)		②中澤 久美 (松本大3)	1:07.30
③櫻井 大幹 (上越教大院2)	14.70(+1.5)		③向山 ひより (上伊那農高3)	1:07.47
▶砲丸投 (7.260kg)			▶5000mW	
①米倉 朋輝 (長野工高3)	12.92		①溝口 友己歩 (長野東高3)	23:10.54 (GR)
②竹村 地智 (長野日大高2)	11.84		②大和 千秋 (飯田病院)	24:45.55
③上原 隆伸 (ターミカッズ長野)	11.43		③矢島 風香 (長野東高2)	26:05.94
▶円盤投 (2.000kg)			▶走高跳	
①大庭 達也 (順天堂大3)	42.53		①戸谷 真理子 (長野吉田AC)	1.63
②米倉 朋輝 (長野工高3)	38.40		②関原 ひなた (軽井沢A&AC1)	1.60

③山我 杏寿実 (新潟大1)	1.55
▶棒高跳	
①小林 奏 (佐久長聖高1)	3.20
②諏訪 実乃里 (常盤中2)	2.80
③飯島 葵 (伊那東部中2)	2.60
▶走幅跳	
①森本 知隼 (松本県ヶ丘高1)	5.67(+0.4)
②三澤 涼子 (ライフメッセージAC)	5.61(+1.5)
③西村 千明 (伊那北高3)	5.56(+0.6)
▶三段跳	
①三澤 涼子 (ライフメッセージAC)	12.55(+2.1)
②栗空 亜沙美 (木曾青峰高3)	11.17(-0.5)
③西澤 香 (ターミガングス長野)	10.54(+1.0)
▶砲丸投(4.000kg)	
①佐藤 芹香 (佐久長聖高3)	12.13
②巾 こと美 (王滝中3)	10.95
③永井 琴美 (上田東高3)	10.69
▶円盤投(1.000kg)	
①竹入 愛彩美 (上伊那農高3)	37.54
②新津 まり菜 (信州大1)	36.12
③永井 琴美 (上田東高3)	31.01
▶ハンマー投(4.000kg)	
①黒岩 美怜 (筑波大2)	43.84
②北原 遥香 (上伊那農高2)	32.32
③佐藤 芹香 (佐久長聖高3)	28.80
▶やり投(0.600kg)	
①新津 まり菜 (信州大1)	40.36
②吉田 みさき (伊那弥生ヶ丘高1)	36.12
③佐伯 悠里香 (信州大2)	35.37
▶4×100m	
①松本大	49.70
(長村・中澤・萩原・村松)	
②松商学園高	50.10
(湯本・西村・児玉・小林)	
③豊科北中	50.44
(下里・齊藤・深澤・小林)	
▶4×400m	
①松本大	4:06.73
(長村・中澤・萩原・村松)	
②鉢盛中	4:10.19
(塙・中村・上條・高安)	
③上伊那農高	4:13.31
(酒井・菅沼・柏原・向山)	

### 第68回長野県選手権大会(混成競技)

期日:平成27年7月4-5日 場所:長野市営陸上競技場

※第99回日本陸上(混成競技)同時開催

#### ▶十種競技

①村中 智彦 (順天堂大4)	7042点 (GR)
(11.26-7.14-12.40-2.00-50.95)	
(15.51-33.61-4.30-51.26-5:01.31)	
②岡田 英希 (国武大2)	5895点
(11.07-6.59-8.89-1.75-52.60)	
(15.48-26.87-3.40-42.08-5:09.73)	
③小澤 亮 (日体大3)	5333点
(12.03-6.03-9.43-1.65-53.12)	
(17.41-24.50-3.20-38.66-4:37.55)	

#### ▶七種競技

①吉村 彩加 (長野高3)	4139点
(15.69-1.51-8.16-27.61-4.98-28.55-2:31.13)	
②中澤 久美 (松本大3)	4121点
(15.54-1.51-8.00-26.82-5.01-23.36-2:31.30)	
③太田 杏優 (市立長野高1)	3793点
(17.14-1.48-8.51-27.34-4.70-30.36-2:43.35)	

## 長野陸協 会議録

### 第 15 回理事会

開催日時 平成 27 年 5 月 23 日 (土) 午後 15 時から

開催場所 上田市 ささや会議室

#### 【議事】

第 1 号 平成 26 年度決算報告について(承認)

第 2 号 顧問及び参与の選定について(承認)

#### 【報告事項】

(1) 平成 26 年度事務局動向

(2) その他

### 第 16 回理事会

開催日 平成 27 年 5 月 31 日 (日)

開催場所 松本平広域公園陸上競技場会議室

日本混成開催に関する確認事項, 高校大会の反省等

### 平成 27 年度 定時評議員会

開催日時 平成 27 年 6 月 14 日 (日) 16 時 30 分～

開催場所 佐久市運動公園陸上競技場会議室

#### 【議事】

第 1 号 平成 26 年度決算報告について(承認)

第 2 号 評議員及び理事・監事選任(承認)

第 3 号 顧問及び参与の選定について(承認)

第 4 号 定款の変更(事務局移転)について(承認)

#### 【報告事項】

(1) 平成 26 年度事務局動向

(2) その他

### 平成 27 年度 前期全体協議会

開催日 平成 27 年 7 月 11 日 (土)

開催場所 松本平広域公園陸上競技場会議室

#### 【報告事項】

(1) 平成 26 年度決算報告

(2) 評議員, 理事並びに監事選任について

(3) 顧問及び参与について

(4) その他

### 第 17 回理事会 (理事出席者 22 名/27)

開催日時 平成 27 年 8 月 6 日 (木)

午後 14 時 30 分から午後 16 時 30 分

開催場所 長野県高校教育会館

#### 【議事】

第 1 号 平成 27 年度事業計画修正について(承認)

第 2 号 平成 27 年度補正予算について(承認)

第 3 号 第 58 回東海選手権大会予算(承認)

第 4 号 東京マラソンと長野陸協の提携について:提携しない。(承認)

第 5 号 日本陸連 JTOs, JRWJs 育成セミナー・認定試験の推薦について: JRWJs については, 掛川和彦先生 (長野工業) を推薦する。(承認)

第 6 号 国民体育大会選手団の選考について。(承認)

今後は中学総体も国体予選と位置付ける。

第 7 号 医事委員会設置について:現在の総務委員会医事部を委員会として独立する。(承認)

第 8 号 長野陸協創立 70 周年記念事業案, 実行委員会案(承認) 詳細は 23 ページ参照

第 9 号 第 18 回長野マラソン及び第 12 回長野車いすマラソンについて:役員を一部変更して承認。

第 10 号 終了した競技会の反省と課題について

・市町村駅伝については, 主体を松本陸協に置く方向で検討する。

・実業団・マスターズ大会の開催地についての方向性を早急に検討する。

・来年度の競技日程について早めに決定していく。

#### 【報告事項】

- (1) 第 99 回日本選手権の各地区協力金の依頼
- (2) 第 64 回長野県縦断駅伝競走大会実施要項, エントリー方法等の変更, 参加料は 1 チーム 5 万となった。
- (3) H28 全国中学大会に向けて
- (4) 全国小学生大会出場者について報告
- (5) 全国高校総体・北信越中学大会等の結果報告
- (6) 松本平運動公園の陸協レンタルコピー機について
- (7) その他

平成 27 年度 第 10 回評議員会 (評議員出席者 7 名/10)

開催日時 平成 27 年 8 月 6 日 (木)

開催場所 長野県教育文化会館高校教育会館

議事 理事会で決定した内容を審議し全て承認された。

なお, 今後の国体選手選考についても, 今回の選考のように客観性のある資料に基づき審議することが望ましいという意見が出された。

第 18 回理事会 (理事出席者 24 名/27)

開催日時 平成 27 年 9 月 5 日 (土) 16 時~17 時

開催場所 松本平広域公園陸上競技場会議室

#### 【議事】

第 1 号 第 100 回 日本陸上競技選手権大会 (混成競技) の日程について。6 月 10・11 日を第一候補日とし, 北信越高校出場者並びに指導者へ配慮することなど。(承認)

第 2 号 第 58 回 東海選手権大会の反省:東海陸協常務理事会へ, 長野方式のエントリー方法, 各県の情報処理関係が一堂に会し統一方式を検討すること, 開催県と東海陸協事務局の連携内容の明確化などを提案する。

その他

(1) H28 年度競技日程について

(2) 審判員ウェアについて

#### 【報告事項】

- (1) 全国小学生大会結果報告。
- (2) 全国中学大会結果報告。
- (3) 全国高専大会結果報告。
- (4) その他

第 19 回理事会 (理事出席者 18 名/27)

開催日時 平成 27 年 9 月 26 日 (土) 17:30~18:30

開催場所 長野市営陸上競技場会議室

#### 【議事】

第 1 号 平成 28 年度の競技会日程について, 原案を修正して, 方向性(県選手権の 7 月開催)を承認した。

第 2 号 次回国体会場地に関する長野県体育協会からのアンケート回答については, 継続審議とした。

#### 【報告事項】

- (1) 第 58 回東海選手権の反省について
- (2) 会報第 154 号の発行について(11 月 1 日発行予定)
- (3) その他

第 20 回理事会 (理事出席者 17 名/27)

開催日時 平成 27 年 10 月 29 日 (木) 16:30~17:00

開催場所 アルウィン会議室

#### 【議事】

第 1 号 2 巡目国体開催に関する長野県体協からの要望書とアンケートの対応について (継続審議)

- (1) 2 巡目国体招致要望書を提出することで承認。
- (2) 長野県体育協会のアンケートについて:国体を開催できる 35000 人収容規模の競技場, 施設設備が無いことから, 開催を希望する市町村「なし」で回答し, 開催できる施設整備を強く要望することを承認。
- (3) その他

## 日本混成サブイベント

7 月 4-5 日, 小学生と保護者のための日本混成競技観戦ツアーを開催しました。講師は日本混成優勝者の小林敬和さんと内田直美(屋ヶ田)さん。元日本チャンピオンの解説を聞きながら, 参加選手を間近で見学し好評を得ました。将来のチャンピオン誕生に期待します。

小林先生, 内田さんお忙しい中, ありがとうございます。



# 長野陸協 事務局だより



「頼まれごとは、試されごと」

理事 庶務部長 足立 洋美

庶務を引き継いで半年が過ぎようとしています。正直、仕事内容は全く理解していませんでした。今まで、市陸協の総会にさえ出たことがなく・・・大会がどのように運営されているかさえ知りませんでした。

前庶務部長内堀先生の、説明される言葉の一つ一つが全く分からず、「そのうちわかるから・・・」「わからなかったらいつでも聞いて・・・」と、満面の笑みと共に引継ぎの日を終えたのですが・・・まだ、頼りっぱなしの毎日です。

中学の登録が最初の大きな仕事でした。毎日毎日仕事のパソコンと、陸協のパソコンの 2 台とにらめっこ。登録の申請が来る。承認する。そんな繰り返しと、振込金の確認。????あなたは一体どこのどなた? すごく丁寧に住所アパートの番地まで書かれているのに、学校名がない。自分もそうだったのか・・・と、反省させられました。手数料がかかる。とかではなく、誰だかわからないのです。中学校 133 校を特定するのがとても困難。副顧問の先生、保護者・・・諸事情はあるでしょうが、「参った。」それが正直な感想です。

その後、日本混成をはじめとする各種大会の弁当の手配では、注文していなかったために弁当が届かない夢にも悩まされました。

そして、理事会、評議員会等の議事録作成。これは、もう少し訓練が必要です。

支部への請求でも、いろいろご迷惑をおかけしながらなんとか、払い込みをしていただきました。ありがとうございました。

「頼まれごとは、試されごと」「相手の予測を上回る仕事をする」自分の信条であるこの言葉を励みに、次はもっと上手に仕事をしよう。そう思っています。今後とも、ご指導いただきますようお願いいたします

- ・追加委員  
会長：小坂憲次  
副会長：北原誠治  
中條 延太郎  
副理事長：大蔵豊，青山陸生，玉城良二，上原羊二，  
理事：黒岩敏明，坂本成久，足立洋美，瀧沢佳生  
小林靖志長野市陸協理事長  
村田修一同上総務部長
  - ・実行委員長：内山了治  
副実行委員長：伊藤利博，細田完二
- \*準備委員会は設置せず、理事会メンバーで対応する。但し、全中関係者は、その任務を優先する。



日本混成 中村選手の見事な棒高跳 4m70

## 2. 事業内容と役割分担

- (1) 記念式典 H28 年 12 月 10 日 (土)  
14 時から 式典，記念講演，16 時から祝賀会  
会場 ホテル犀北館 (400 名予約済み)
- (2) 記念誌 H29 年 12 月頃発行予定
- (3) 記念競技会 H29 年に実施
- (4) 事業未定 (50回は松本競技場トロフィー等収納棚，長野市営日本記録掲示板など)
- (5) 記念講演会 (50 回は中山氏)
- (6) 永年表彰
- (7) 優秀選手の表彰
- (8) 企業等への感謝状と記念品

役割分担 ○：責任者

実行委員長：内山，副委員長：伊藤，細田  
総括：小坂，伊藤，細田，内山

- 総務 (事業) ○黒岩，足立，坂本，小林
- 記念誌 ○藤森，千代，竹内，葛城，瀧沢
- 式典 ○富松，中條，北原，大蔵
- 祝賀会 ○浦野，上原，遠山，村田
- 表彰 ○下川，青山，杉崎
- 競技会 ○玉城，横打，青柳，中津

## 長野陸協創立 70 周年記念事業について

平成 27 年 8 月 6 日に開催された理事会，評議員会で承認されている内容は次のとおりです。ご意見，要望等忌憚りの無いご意見をお願い申し上げます。

### 1. 実行委員会組織と委員長選出について

(敬称略，アンダーラインは県陸協理事)

南信：千代馨脩，遠山正洋，竹内秀樹，葛城光一

中信：下川泰秀，藤森茂幸

北信：伊藤利博，浦野義忠，内山了治

東信：富松健夫，細田完二，杉崎憲雄 以上，

12 名は H27 年 2 月県陸協理事会で承認済み

・追加委員は新執行部が発足後，新執行部から選考し理事会で承認を得ることとなっていた。

## H28 年度の日本陸連競技日程 (案)

【日本陸連関係】日本陸連ホームページをご確認下さい

- ・ 4 月 17 日 (日) 第 18 回長野マラソン
- ・ 6 月 11・12 日 (日) 第 100 回日本選手権混成競技 (長野)
- ・ 6 月 24 (金) - 26 (日) 第 100 回日本選手権 (瑞穂)
- ・ 7 月 29 (金) - 8 月 2 (日) 第 69 回全国高校 (岡山)
- ・ 8 月 20 (土) 第 32 回全国小学生 (日産スタジアム・神奈川)
- ・ 8 月 21 (日) - 24 (水) 第 43 回全国中学 (松本)
- ・ 8 月 24 (水) - 25 (木) 第 51 回全国高専 (瑞穂)
- ・ 8 月 27 (土) - 28 (日) 第 4 回全国高校選抜 (長居)
- ・ 10 月 7 (金) - 11 (火) 第 71 回国体 (岩手北上)
- ・ 10 月 21 (金) - 23 (日) 日本ジュニア，ユース (瑞穂)
- ・ 10 月 28 (金) - 30 (日) ジュニアオリンピック (日産)

# 日本陸連栄章 おめでとうございます



日本陸上競技連盟栄章授与式

第 70 回国民体育大会陸上競技大会の 2 日目(10 月 3 日)に日本陸上競技連盟の 2014 年度栄章ならびに第 15 回世界陸上競技選手権大会(北京/中国: 8 月 22 日~8 月 30 日)入賞者の勲功章, 同指導者の競技者育成章授与式が行われた。

本陸協関係では, 富永先生が中学優秀指導者章を, 上杉先生が高校優秀指導者章をそれぞれ受章された。この章は毎年1名ずつ, 長野陸上競技協会の指導者功績章受章者の中から, 全国大会で上位に入賞させた指導者, 長野陸上競技協会に貢献度の高い指導者を日本陸連に推薦し, 日本陸連で審議され決定している。

また, 8月に北京で開催された世界選手権50km競歩で見事4位に入賞された荒井広宙選手(自衛隊体育学校)に「勲功章」が, 荒井選手の中野実業高等学校時代の指導者荻原信幸先生(上田東高校教員)に「競技者育成章」が授与された。おめでとうございます。



勲功章を受章した荒井選手(左)と荻原先生

■中学優秀指導者章 富永 浩一先生(鉢盛中学校教員)  
2013年全国中学大会に豊科北中学女子4×100mリレーを出場させた。また, 中信地区陸上競技協会普及強化部長なども歴任し本協会への貢献度も高い。

■高校優秀指導者章  
上杉 丈夫先生(田川高校教員) 松澤ジアン成治選手(高遠高校)を指導し, 2008年全国高校総体棒高跳で優勝させるなど, 数々の選手を育成している。また強化コーチとして本協会に貢献している。



## お知らせ 長野陸協事務局

■先ずは, 会報第 154 号の発行が遅れたことをお詫び申し上げます。ボリュームが増加したため, 本号から A4 版に変更し, 本協会の情報をお伝えできればと思います。

■トラックシーズンが終わり駅伝シーズンとなりました。同時に平成 28 年度の競技日程等も検討しています。競技日程等のご要望等を受け付け中です。忌憚のないご意見, 大会が活性化するアイデアなど, 11 月 20 日頃までにお寄せ下さい。E-mail, Fax をお願いします。

来年は全国大会並びに本協会創立 70 周年記念事業を控えております。ご協力をお願い申し上げます。

### 主な予定

- ・第 100 回日本選手権混成競技: 6 月 11-12 日(長野)
- ・第 43 回全国中学: 8 月 21 日(日)-24 日(水)(松本)
- ・第 65 回長野県選手権: 7 月(松本) 東海各県と同様に県選手権を国体予選と兼ね 7 月に予定しています。少年 B のハードル種目等は別の日程(7 月下旬)を予定しています。また, 県選手権が東海選手権の予選会となります。

- ・長野陸協創立 70 周年記念式典・祝賀会: 12 月 10 日(土) 14 時開会予定(長野市 ホテル犀北館)
- ・長野県混成については検討中です。

### 編集後記

ご多忙の中, 執筆いただいた皆様方ありがとうございました。長野陸協も新体制となり, 来年の全日本中学校陸上競技選手権大会と 2020 年の東京オリンピックに向けてスタートを切りました。

今回から会報の編集に携わり進めてきましたが, 不慣れな点があり, 多くの方に助けをいただき発行となりました。感謝しております。会報前半には, 新旧役員の方のご紹介やあいさつが掲載され, 協会運営のご苦労や思いが綴られています。また, 後半には各種競技会の熱戦の様子が臨場感あふれる内容での報告となっています。今年度も後半戦となり, 長距離や駅伝シーズンになりました。また, 冬期の重要なトレーニングへと切り替わっていく時期です。来年のリオデジャネイロでのオリンピック, 岡山インターハイ, 長野での全国中学校陸上大会に向けて長野県一丸となって取り組んでいきましょう。一人でも多くの選手が出場して, 結果を残せるように! ご健闘をお祈り申し上げます。

(内山 良一・事務局一同)